資　料

資料１　生涯学習課　令和７年度　事業報告（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ．１～Ｐ．３

資料２　関係各課　令和８年度　年間事業計画
生涯学習課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４～Ｐ．７
小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８、９
学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１０～Ｐ．３４

資料３　令和７・８年度事業別市町村別事業実施・実施予定一覧・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３５

資料４　令和８年度放課後子ども教室・放課後児童クラブ取組状況調査（まとめ）・・・ Ｐ．３６～Ｐ．４４

資料５　ＮＰＯ法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）現況と課題・・・Ｐ．４５～Ｐ．４９

資料６　協議（情報交換）用資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５０

令和7年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等事業報告（概要）

資料1

1　推進委員会の実施

■第1回
【開催日】令和7年11月6日
【内　容】令和6年度実績報告、令和7年度中間報告等

■第2回
【開催日】令和8年2月6日
【内　容】令和7年度事業報告（実績見込）、令和8年度事業計画等

2　研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
（1）全体研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 （全体研修会） 兼 地域とともにある学校づくり研究協議会 ※小中学校課との合同開催	令和7年8月18日	高知県立ふくし交流プラザ	［基調講演］ 演題「学校と地域の学びの未来」 ～子どもたちの心を育む学校・家庭・地域との連携・協働～ ［パネルディスカッション］ テーマ「持続可能な社会の創り手を育成するコミュニティ・スクール」 ［グループ交流］	【講師】 鈴木　廣志　氏（文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員） 【モデレーター】 鈴木　廣志　氏（文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員） 【パネリスト】 小川　真悟　氏（高知市立春野中学校長） 中村　彰宏　氏（春野中学校区学校運営協議会　会長） 嶋田　数昌　氏（甲浦地区保小中合同学校運営協議会　会長） 川上　確也　氏（いの町立伊野南小学校長）	98名	84%	**【地域学校協働本部事業】** ・地域学校協働本部整備率　100%（R5より） ・高知県版地域学校協働本部整備率　100%（R6より）←毎年3要件確認。継続実施 ・昨年度に引き続き、コミュニティ・スクールを所管とする小中学校課と合同でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた研修会を開催することができた。開催要項の一本化、グループ協議では学校関係者と行政、地域の関係者が一つのグループとなり、情報共有やテーマについて話し合うことができた。来年度も合同開催の予定。	**【地域学校協働本部事業】** ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）やボランティアの人材確保・育成 ・市町村や学校によって活動内容に差がある。地域学校協働活動事例集の取組を周知するとともに様々な場面で活用し、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。 ・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に向け、育てたい子どもの姿を共有し、活動の目的や必要性を明確にした協働活動を展開していくことで、社会に開かれた教育課程の実現につなげていく。そのための核となる、市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支援方法等を検討していく。また、市町村担当者向けの研修についても検討していく。 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、管理職だけでなく、教職員等への理解を促進するために研修会のあり方を検討する必要がある。そのために関係各課との情報の共有や連携体制を強化していく。
	高知県地域学校協働活動推進員 （地域コーディネーター）研修会 （全3回）	令和7年10月21日 令和7年10月22日 令和7年10月23日	第1回：安田町文化センター 第2回：四万十市総合文化センター 第3回：高知県立高知青少年の家	［基調講演］ 演題「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 」～子どもの学びのためにコーディネーターとしてできること～」 ［実践発表］ ［グループによるワークショップ］	【講師】 竹原　和泉　氏（NPO法人まちと学校のみらい　代表理事） 【実践発表者】 （第1回　東部会場、第2回　西部会場） 福井　佳織　氏（高知市立義務教育学校土佐山学舎校長） 高橋　幹博　氏（義務教育学校土佐山学舎学校運営協議会　会長） （第3回　中部会場） 北添　　忠　氏（四万十町立米奥小学校長） 村上　智之　氏（米奥小学校地域学校協働本部　地域学校協働活動推進員）	第1回 42名 第2回 31名 第3回 45名	88% 86% 84%	・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動において、子どもの課題解決に取り組むことで、改善・解決につながった割合　90% ・民生委員・児童委員の参画率　100% ・子どもたちが地域住民と交流し、多様な体験をすることにより、自尊感情の向上につながった。　95.5% ・地域学校協働活動研修会や地域コーディネーター研修会、市町村担当者会において、高知県の課題に沿ったテーマに基づいた講師を選定し、会の流れを工夫することで、ブラッシュアップを図り、質の向上につながった。	
	高知県社会教育実践交流会	令和8年1月24日	高知県立青少年センター	分科会・分散会	【分科会実践発表者】 酒井　紀子　氏、中岡 直人 氏（育つ会とおわ代表） 海老川　真美　氏（日南・大平集落活動センターひなたぼっこ集落支援員） 宮本　海帆　氏（硬式テニスクラブFSS.tennis-team代表） 学生合同なぶら、高知県青年団協議会 北山　幸治　氏（高知県小中学校PTA連合会会長） 嶋田　あゆみ　氏（甲浦集落活動センターなぎ集落支援員）	95名	94%	**【初参加率】**※アンケート結果 R5　29.6% R6　31.8% R7　45.8% 初参加率が大幅に上昇し、社会教育関係者の新たなつながり促進につながっていると考えられる。 **【分科会、分散会】** 様々な分野の地域での実践者の話を聞くとともに、参加者同士や参加者と発表者が交流できる場を多く設けたことで、活発な意見交換につながった。	・初参加率は向上したが、公民館、PTA関係者、教職員や学生の参加が少ない。事業内容や形式、周知方法など、委員と共に改善策を検討していく。 ・基調講演など参加者が聴講するだけになる時間を削除し、参加型になるような時間を多く設定したことで活発な意見交換が生まれた。しかし、分散会において、参加者による分科会の情報提供に時間を要し、時間配分に苦戦する班が散見された。満足度の高い交流の時間になるように、グループワークの取り組み方を委員と共に検討していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
（２）放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る支援員等研修 ①放課後児童対策パッケージ推進事業に係る資質向上研修	危機管理対策研修	令和7年7月4日 令和7年7月7日 令和7年7月8日	中部会場：高知青少年の家 西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 東部会場：高知県立青少年センター	◆講義・演習：「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課 チーフ（学校安全担当） 上岡 法政 氏	250名	99%	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 **【資質向上研修】** （各テーマ共通） ・取組状況調査や市町村ヒアリング、現場訪問の際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことにより、昨年度に比べて研修に参加する市町村が増えた。 　また、学び場人材バンクの出前講座の新たなメニューを追加したことで普段では行うことが少ない体験活動等を行うことができてきている。 ・放課後子ども教室や放課後児童クラブを開設していく上で、子どもとの関わり方に関して、苦慮している現場の方が多いことから、子どもとの関わり方に関する研修会を昨年度に引き続き2回行った。ニーズの多さから多くの方に参加してもらうことができた。	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 **【資質向上研修】** （各テーマ共通） ・参加する自治体や放課後子ども教室、放課後児童クラブの箇所数は増えているが、参加がない放課後子ども教室、放課後児童クラブが一定数ある。また、放課後児童クラブに比べて放課後子ども教室の参加者が少ないことから、参加が少ない自治体に参加している自治体の取組みを共有していくことで参加を促す。 ・昨年度に引き続き、市町村担当者及び支援員の方からのニーズが高い、発達障害に関わる内容については、アンケート等の内容から個別支援を求めているケースが多いため、市町村ヒアリングの際に、課題を共有していく。視察先での好事例については、市町村担当者及び支援員の方に共有していく。 ・ヒアリング等での周知や担当者に連絡をしているが、参加率が低い自治体が一定数ある。引き続き、市町村担当に周知するとともに、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの視察を行った際に周知していく。 ・県内の特別支援学級に在籍している児童や通級による指導を受ける児童は増加傾向にあることから、次年度も2回以上は子どもとの関わり方に関する研修会を計画していく。 ・オンデマンド配信については、現場からのニーズがあることから引き続き実施していく。
	危機管理対策研修・オンデマンド配信	令和7年8月19日～10月17日	オンデマンド配信	◆講義・演習：「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課 チーフ（学校安全担当） 上岡 法政 氏	－	－		
	子どもの発達理解促進研修会	令和7年9月9日 令和7年9月16日 令和7年9月18日	東部会場：高知県立青少年センター 西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 中部会場：須崎市立市民文化会館	◆講義・演習：「集団活動で大切にしたいこと」 ～ソーシャルスキルの視点で～	講師：高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	212名	99%		
	子どもの発達理解促進研修会 ・オンデマンド配信	令和7年9月26日～12月19日	オンデマンド配信	◆講義・演習：「集団活動で大切にしたいこと」 ～ソーシャルスキルの視点で～	講師：高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授 福住 紀明 氏	－	－		
	子どもの発達障害等の 理解促進研修会	令和7年11月12日 令和7年11月14日 令和7年11月20日	西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 東部会場：高知県立青少年センター 中部会場：高知県立青少年の家	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～ふつうをアップデート～	講師：障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表 森實 摩利子 氏	279名	100%		
	子どもの発達障害等の 理解促進研修会・オンデマンド配信	令和7年12月26日～令和8年2月27日	オンデマンド配信	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～ふつうをアップデート～	講師：障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表 森實 摩利子 氏	－	－		
	安全対策研修会	令和8年1月14日 令和8年1月20日 令和8年1月23日	西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 中部会場：須崎市立市民文化会館 東部会場：高知県立青少年センター	◆講義・演習：「救急時における応急処置について」～家庭にあるものを使って応急処置の体験をしていただきます～	講師：日本赤十字社 高知県支部	－	－		
	安全対策研修会・オンデマンド配信	令和8年2月上旬～令和8年3月下旬（予定）	オンデマンド配信	◆講義・演習：「救急時における応急処置について」～家庭にあるものを使って応急処置の体験をしていただきます～	講師：日本赤十字社 高知県支部	－	－		
②放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和7年10月26日 令和7年11月3日 令和7年11月16日 令和7年11月24日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号）に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、１日あたり４科目（１科目90分）、計４日間、１回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会（委託）	66名 （修了：56名）	－	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数（うち修了者数） R5：82（75）→R6：74（65） ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたくても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行っていく。 ・県内における有資格者数および現場のニーズによっては、開催方法の検討が必要。
③子育て支援員研修（放課後児童コース）	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和7年9月6日 令和7年9月7日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、１日あたり３科目（１科目90分）、計２日間実施。	合同会社 All HEROs 代表 中山 芳一 氏	25名 （修了：24名）	－	【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。 ・受講者数（うち修了者数） R5：30名（29名）→R6：35名（23名）	【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。 ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
（３）「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーターの養成およびプログラムを活用した講座の開催	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会	基礎編： 令和7年9月11日 活用編： 令和7年9月19日 実践編： 令和7年9月26日	高知県立青少年センター 高知県立青少年センター 高知県立青少年センター	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ“体験型講演会” ・講義とロールプレイによる体験学習 プログラムの概要、プログラム体験 プログラム演習	講師： NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事　菅原 裕子　氏 講師： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員 講師： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	申込者11名 認定者3名	91.4% 95.7% 94.3%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・18市町村 ・家庭教育支援チーム：4市町村 （土佐町、須崎市、日高村、宿毛市） ・「親プロ」活用講座 近年の活動成果 回数　参加者　ファシリテーター派遣 R1　20回　536名　33名 R2　7回　76名　9名 R3　7回　109名　7名 R4　13回　155名　15名 R5　18回　396名　18名 R6　17回　641名　19名 R7　24回　562名　24名 （R8．3月末）	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金の活用拡大 →補助金の活用事例等を共有するなど、補助金の活用、市町村の家庭教育支援事業の推進に向けて働きかける。 ・親プロファシリテーターのスキルアップ →親プロファシリテーターフォローアップ研修会を実施した。今後も継続した取組が必要。
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーターフォローアップ研修会	令和7年10月28日	塩見記念青少年プラザ	【説明】 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の取組について 【講演】 「私がファシリテートするときに意識していること」 【グループワーク】	説明： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員 講師： 「親プロ」ファシリテーター　櫻本　智子　氏	７名	100%		
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和7年5月10日	高知市　春野南ヶ丘PTA子ども会	女の子の体と心	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名	83%		
		令和7年6月1日	高知市　附属幼稚園	子どもの心（感情）を育てるために～ちゃんと泣ける子に育てよう～	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	54名			
		令和7年6月3日	南国市　あけぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	21名			
		令和7年6月13日	黒潮町　佐賀保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	30名			
		令和7年6月14日	香南市　夜須小学校	ケータイ・スマホとの付き合い方	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	25名			
		令和7年6月17日	室戸市　佐喜浜保育所	スマホ時代の子育て	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	11名			
		令和7年6月20日	南国市　あけぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	25名			
		令和7年6月21日	高知市　春野弘岡上保育園	絵本の読み聞かせ講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	17名			
		令和7年6月26日	土佐市　みのり保育園	子どもとの関わり	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	13名			
		令和7年6月27日	黒潮町　南部保育所	子育て中のイライラとうまくつきあおう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	14名			
		令和7年6月28日	四万十市　東中筋小学校	基本的生活習慣の大切さ～「メディアとの適切な接し方」について～	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	65名			
		令和7年9月4日	土佐市　みのり保育園	子ども理解と関わり方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	６名			
		令和7年9月4日	室戸市　羽根中学校区	早ね早おき朝ごはんで、元気もりもり大作戦！	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	75名			
		令和7年9月18日	黒潮町　地域子育て支援センター	子育て中のイライラとうまくつきあおう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	７名			
		令和7年9月20日	土佐市　新居小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	31名			
		令和7年10月1日	越知町教育委員会事務局生涯学習課	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	23名			
		令和7年10月31日	黒潮町　大方中央保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	32名			
		令和7年11月1日	四万十市　あおぎ保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	11名			
		令和7年11月5日	仁淀川町　池川こども園	親子読書の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	39名			
		令和7年11月27日	須崎市地域子育て支援センターサンサンひろば	子どもは「生き生き」してる？～『子どもは遊びの天才だ～！』～	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	８名			
		令和7年11月29日	四万十市　竹島保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	10名			
		令和7年12月2日	香南市総合子育て支援センターにこなん	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	８名			
		令和7年12月4日	黒潮町地域子育て支援センター	赤ちゃんや子どもの食育について	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	５名			
		令和8年3月5日	須崎市地域子育て支援センターサンサンひろば	楽しく向き合う子どもの食事	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	20名			
④「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和7年11月25日	高知県立塩見記念青少年プラザ	（1）報告 ①「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 ②高等学校卒業程度認定試験について ・高知県の現状 ・若者サポートステーション利用者実施状況 ③各市町村の生活保護受給世帯数について （2）意見交換 ・学習相談・学習支援に関する具体的方策 ・高等学校卒業程度認定試験 ・支援対象者の誘導 ・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援 ・支援における関係機関の連携 ・事業成果の評価検証　など	若者サポートステーション所長等	９名	－	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者（９名［当課事務局２名含む］） 教育委員会事務局高等学校課１名 同人権教育・児童生徒課１名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課１名 同子ども家庭課１名、同福祉指導課１名 各若者サポートステーション２名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の今後の事業展開に向けた連携を図ることができた。 ・年度末実績（若者サポートステーション） 前年度末在籍利用者 66名 新規登録者 75名 学習相談　639件、実人数 108名 学習支援　640件、実人数 53名 アウトリーチ 290件、実人数 40件 就労 30名（正規2、非正規 24、職業訓練4） 修学 19名（進学7、復学1、高卒認定11）	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・高卒認定試験については、新教育課程となってから内容も変わり、R8年度からは「情報」の科目も新たに入ってくるため、対策が必要である。 ・サポートステーション利用者支援については、対象者個人だけではなく、家庭全体に対しても支援が必要なため、他部署との連携が不可欠である。 ・次年度においても、労働、福祉部局等との連携・協働を推進するため、年1回、実施していく。

令和８年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画（概要）

資料2

１　事業の総合的なねらい
地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等の教育支援活動を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

２　重点取組
（1）市町村担当者、学校関係者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）等、学習支援員、協働活動リーダー、協働活動サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
（2）子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
（3）「親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
（4）事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
（5）若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20歳から39歳及び市在住の15歳から19歳）の社会的自立を推進する。

３　事業計画（推進委員会の実施）
■第１回
【開催日】令和８年11月12日
【内　容】令和７年度実績報告、令和８年度中間報告等

■第２回
【開催日】令和９年２月上旬～２月中旬
【内　容】令和８年度事業報告（実績）、令和９年度事業計画等

４　研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
（１）全体研修会及びブロック別研修会	高知県版地域とともにある学校づくり推進フォーラム ※小中学校課との合同開催 【全体研修会】	令和８年８月27日	高知県立 ふくし交流プラザ 多目的ホール	［実践発表］ ［グループ交流］ ［講演］ 演題「地域とともにある学校づくりの推進」 ～学校と地域の協働による教育活動の充実に向けて～	【実践発表者】 高知市立義務教育学校土佐山学舎 生徒会、８年生（生徒16名） 校長　福井　佳織　氏 【講師】 朝倉　美由紀　氏（文部科学省CSマイスター、明星大学　教育学部　特任教授）	74名	91%
	未来を育む地域学校協働研修 （全３回） 【ブロック別研修会】	令和８年７月28日 令和８年７月29日 令和８年７月30日	第１回：中村地区建設協同組合会館　会議室 第２回：安田町文化センター多目的ホール 第３回：高知県立高知青少年の家　大集会室	［グループによるワークショップ］ 熟議体験 ［講演］ 演題「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 」 ～ともにつくる、これからの学校と地域のつながり～ ［リフレクション］	【講師】 竹原　和泉　氏（CS推進名誉マイスター、NPO法人まちと学校のみらい　代表理事）	第１回 22名 第２回 34名 第３回 66名	86% 87% 87%
	高知県社会教育実践交流会	令和９年１月30日	高知市立江ノ口小学校	分科会・交流タイム（予定）	【実践発表者】 ・県内社会教育関係者６名（予定）	－	－

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
（２）放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る①放課後児童対策パッケージ推進事業に係る支援員等研修	危機管理対策研修	令和8年6月23日 令和8年6月25日 令和8年6月30日	西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 中部会場：高知青少年の家 東部会場：高知県立青少年センター	◆講義・演習：「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて	講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課	236名	100%
	危機管理対策研修・オンデマンド配信	令和8年7月23日～9月30日	オンデマンド配信	◆講義・演習：「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師：高知県教育委員会事務局学校安全対策課	―	―
	子どもの発達障害等の理解促進研修会	令和8年10月6日 令和8年10月8日 令和8年10月14日	西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 中部会場：土佐市複合文化施設つなーで 東部会場：高知県立青少年センター	◆講義・演習：「集団活動で大切にしたいこと」 ― みんなが安心して過ごせる居場所を、チームでつくるために ―	講師：障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表　森實　摩利子　氏	265名	100%
	子どもの発達障害等の理解促進研修会・オンデマンド配信	令和8年10月27日～令和8年12月23日	オンデマンド配信	◆講義：「集団活動で大切にしたいこと」― みんなが安心して過ごせる居場所を、チームでつくるために ―	講師：障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいところ」 代表　森實　摩利子　氏	―	―
	子どもの発達理解促進研修会	令和8年12月3日 令和8年12月4日 令和8年12月8日	中部会場：高知県立青少年の家 西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ 東部会場：高知県立青少年センター	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～心理学の視点から学ぶ実践的アプローチ～	講師：高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授　福住　紀明　氏	―	―
	子どもの発達理解促進研修会・オンデマンド配信	令和8年12月下旬～令和8年2月下旬（予定）	オンデマンド配信	◆講義「集団での活動における支援で大切にしたいこと」 ～心理学の視点から学ぶ実践的アプローチ～	講師：高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 准教授　福住　紀明　氏	―	―
	安心・安全な居場所づくり研修会	令和9年1月26日 令和9年1月27日 令和9年1月28日	中部会場：高知県立青少年の家 東部会場：高知県立青少年センター 西部会場：四万十市総合文化センターしまんとぴあ	【講義・演習】 「安心・安全な居場所をつくるために」 ・児童を対象とした性犯罪の現状 ・性犯罪の未然防止について ・性被害が疑われる場合の適切な初期対応要領について ・代表者聴取について	講師：高知県警察本部　刑事部　捜査第一課	―	―
②放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和8年10月18日 令和8年11月1日 令和8年11月22日 令和8年11月29日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号）に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、１日あたり4科目（1科目90分）、計４日間、１回実施。	株式会社東京リーガルマインド大阪法人事業本部	91名（予定）	―
③子育て支援員研修放課後児童コース	子育て支援員研修　放課後児童コース	令和8年9月5日 令和8年9月6日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、１日あたり3科目（1科目90分）、計2日間実施。	A.M.I学童保育センター　センター長　中野健汰 氏	25名	―

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
（３）「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会、ファシリテーターフォローアップ研修会およびプログラムを活用した講座の開催	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会	基礎編： 令和８年９月１日	高知県立青少年センター	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ“体験型講演会” ・講義とロールプレイによる体験学習	講師： NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事　菅原 裕子　氏	申込者11名 認定者３名	93.8%
		活用編： 令和８年９月11日	高知県立青少年センター	プログラムの概要、プログラム体験	講師： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員		
		実践編： 令和８年９月18日	高知県立青少年センター	プログラム演習	講師： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員		
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーターフォローアップ研修会	令和８年10月23日	塩見記念青少年プラザ	【説明】 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の取組について 【講演】 「私がファシリテートするときに意識していること」 【グループワーク】	説明： 高知県教育委員会事務局生涯学習課職員 講師： 「親プロ」ファシリテーター　櫻本　智子　氏	４名	90%
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和８年５月22日	安芸市　伊尾木小学校	ふりかえろう・・子どもの接し方（子どもの育てたい力とは？）	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	17名	－
		令和８年６月２日	南国市　久礼田保育所	子どもの食事ってこれでいいの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	20名	
		令和８年６月７日	高知市　附属幼稚園	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	60名	
		令和８年６月16日	南国市　久礼田保育所	子どもの食事ってこれでいいの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	20名	
		令和８年６月26日	黒潮町　佐賀保育所	子どもの「ケータイスマホ」どう考える？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	25名	
		令和８年７月９日	四万十町　窪川地域子育て支援センター	親への接し方・子育てアドバイス	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	10名	
		令和８年７月14日	黒潮町　南部保育所	心と体を育てるごはん～朝ごはんから始まる元気な一日～	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	10名	
		令和８年８月１日	四万十市　めぐみ乳児保育園	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	25名	
		令和８年９月２日	南国市　地域子育て支援センターおひさま	相談対応	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	16名	
		令和８年９月９日	越知町　越知小学校	子育て中のイライラとうまくつきあおう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	30名	
		令和８年９月10日	高知市　上街保育園	子育て中のイライラとうまくつきあおう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	15名	
		令和８年９月15日	四万十町　十和中学校	子どもの「ケータイスマホ」どう考える？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	35名	
		令和８年10月１日	南国市　地域子育て支援センターおひさま	相談対応	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	16名	
		令和８年10月21日	南国市　稲生小学校	幼児期の子どもをもつ保護者を対象としたプログラム	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	32名	
		令和８年11月２日	大月町　おおつき保育所	幼児期の子どもをもつ保護者を対象としたプログラム	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	30名	
		令和８年11月11日	仁淀川町　池川こども園	親子読書の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和８年11月21日	高知市　丑之助学園	幼児期の子どもをもつ保護者を対象としたプログラム	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和８年11月28日	四万十市　あおぎ保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和８年12月５日	いの町　長沢小学校	子どもの「ケータイスマホ」どう考える？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員		
		令和８年12月15日	高知市　土佐山学舎	異性との付き合い、男女の付き合い	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和９年１月14日	室戸市　羽根中学校	早寝早起き朝ごはんで元気もりもり大作戦	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和９年１月14日	室戸市　羽根小学校	早寝早起き朝ごはんで元気もりもり大作戦	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和９年１月27日	高知市　針木保育園	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和９年２月20日	高知市　丑之助学園	幼児期の子どもをもつ保護者を対象としたプログラム	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		
		令和９年２月24日	高知市　びすた保育園	子ども同士のトラブル・・・どう解決する？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター		

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
（4）「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和8年11月実施 （予定）	未定	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について→・高知県の現状　・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→・学習相談・学習支援に関する具体的方策　・高等学校卒業程度認定試験　・支援対象者の誘導　・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援・支援における関係機関の連携・事業成果の評価検証　など	若者サポートステーション所長、代表理事等　予定	12名予定	ー

令和８年度　高知県版地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催要項

１　趣　旨

学校の地域連携に関わる教職員並びに、地域学校協働本部事業・学校運営協議会等の関係者が一堂に会し、講話や意見交流を通して、学校と地域が連携・協働して子どもたちの豊かな心を育む体制づくりの意義と方法について理解を深める。その上で、地域の人的・文化的資源を教育活動に生かし、学校・家庭・地域が一体となった取組を構想・実践できる力を高めるとともに、高知県が目指す「地域とともにある学校づくり」の実現に向け、課題を共有し、具体的な協働の在り方を見いだすことを目的とする。

２　主　催

高知県教育委員会　　高知県地域学校協働活動推進委員会

３　日時・会場

日時：令和８年８月 27 日（木）　13：00～16：40
会場：高知県立ふくし交流プラザ　多目的ホール（高知市朝倉戊 375-１）

４　参加対象者

（１）小・中・義務教育学校教職員及び管理職
（２）高等学校・特別支援学校の教職員及び管理職
（３）地域・行政関係者
・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）　・学校支援ボランティア
・学校運営協議会委員　・行政職員　等

５　日程及び内容

時間帯	内　　容
12:30～13:00	受付
13:00～13:15	開会行事・全体説明
13:15～13:55	実践発表（高知市立義務教育学校土佐山学舎）
13:55～15:20	グループ交流（熟議体験）
15:20～15:35	休憩
15:35～16:35	講演 演題：「地域とともにある学校づくりの推進 ―学校と地域の協働による教育活動の充実に向けて―」 講師：文部科学省 CS マイスター　朝倉　美由紀　氏 （明星大学　教育学部　特任教授）
16:35～16:40	閉会行事（事務連絡、アンケート）

６　旅　費

参加対象者（１）については、配当外旅費を支給します。（旅費コード 421-0899-3262）
参加対象者（２）については、配当内旅費となります。
参加対象者（３）については、所管の市町村教育委員会にご相談ください。

７　申込み

参加対象者（１）、（２）については、**全国教員研修プラットフォーム Plant** での申込みとします。
参加対象者（３）については、**Google フォーム**での申込みとします。
申込みの締切は、どちらも７月 31 日（金）とします。

８　備　考

・本フォーラムは、高知県教育委員会事務局生涯学習課と小中学校課の合同開催となります。

〔お問い合わせ先：参加対象者(１)　〕
高知県教育委員会事務局小中学校課
担当　中澤・今城（チーフ　松村）
TEL：088－821－4735　　FAX：088－821－4926
E-mail:310301@ken.pref.kochi.lg.jp

〔お問い合わせ先：参加対象者(２)・(３)　〕
高知県教育委員会事務局生涯学習課
担当　小島（チーフ　山本）
TEL：088－821－4897　　FAX：088－821－4505
E-mail: nori_ojima@ken2.pref.kochi.lg.jp

令和8年度　高知県版地域とともにある学校づくり推進フォーラム

目的　学校の地域連携に関わる教職員並びに、地域学校協働本部事業・学校運営協議会等の関係者が一堂に会し、講話や意見交流を通して、学校と地域が連携・協働して子どもたちの豊かな心を育む体制づくりの意義と方法について理解を深める。その上で、地域の人的・文化的資源を教育活動に生かし、学校・家庭・地域が一体となった取組を構想・実践できる力を高めるとともに、高知県が目指す「地域とともにある学校づくり」の実現に向け、課題を共有し、具体的な協働の在り方を見いだすことを目的とする。

① 開催概要

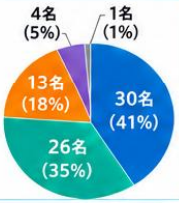
日時　令和8年8月27日（木）13:00～16:40

場所　高知県立ふくし交流プラザ 多目的ホール

参加者数　**74名**

参加者の内訳

- 学校関係者　30名
- 地域関係者　26名
- 行政関係者　13名
- 推進委員　4名
- その他　1名



② プログラムの内容

実践発表（土佐山学舎の取組）→ グループ交流（熟議体験）→ 講演


土佐山学舎の生徒による実践発表


生徒も参加したグループ交流（熟議体験）


講演

③ アンケート結果（67名回答）

満足度（100点満点）　平均 **91点**

約9割の方が「満足」「やや満足」と回答しました。

グループ交流を通して、熟議の進め方のイメージが湧きましたか？



- できた　35名（52%）
- どちらかと言えばできた　31名（46%）
- どちらかと言えばできなかった　1名（2%）
- できなかった　0名（0%）

肯定的回答　**66名/67名（98%）**

④ 参加者の声（自由記述の一部を引用）

中学生を混ぜたグループ交流により、大人が集まっても気付けなかった視点から物事を考えることができました。
学校関係者

子ども（中学生）が入って熟議できたことは有意義だった。生の声を聞くことで、自分の考えがブラッシュアップできました。
地域関係者

子ども達の視点が入ることで、大人の感覚を反省する面もありました。改めて、子どもをどう育てていくかを中心に取り組みを考えていくことが大切だと理解できました。
行政関係者

すばらしい発表でした。子どもの姿を見られたことが一番です。地域の力（協力）があったことを改めて知ることができました
推進委員

⑤ 全体の成果

- 熟議の進め方について、具体的なイメージをもつことができた（肯定的回答 98%）。
- 子どもの声を学校運営協議会に生かすことの重要性について、参加者が考える機会となった。
- 学校と地域が目指す子ども像を共有し、それぞれの立場でできることを共に考える、有意義な機会となった。

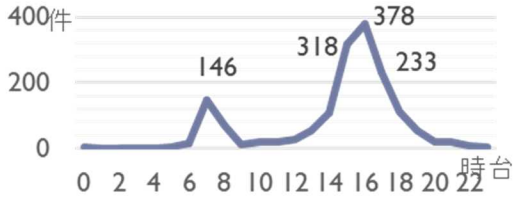


登下校防犯プランの概要

登下校時における子供の安全の課題

(1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15～18時)に集中
犯罪件数が減少する中、ほぼ横ばいで推移
(2) ①既存の防犯ボランティアの高齢化、②共働き家庭の増加
→ 「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている
➡ **登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務**

子供(13歳未満)が被害者となる身体犯の発生状況
(土日除く。道路上での事案に限る)(H27～29年累計)



1. 地域における連携の強化

(1) 登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築
(2) 政府の「登下校防犯ポータルサイト」による取組の支援



2. 通学路の合同点検の徹底及び環境の整備・改善

(1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進
(2) スクールガードの養成、防犯ボランティア団体の活動等の支援
(3) 「子供110番の家・車」への支援等

3. 不審者情報等の共有及び迅速な対応

(1) 警察・教育委員会・学校間の情報共有
(2) 地域住民等による効果的な見守りや迅速な対応に資する情報の提供・発信
(3) 放課後児童クラブ・放課後子供教室等の安全対策の推進

4. 多様な担い手による見守りの活性化

(1) 通学路の防犯の観点による緊急合同点検の実施、危険箇所に関する情報共有
(2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り
(3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯まちづくりの推進

5. 子供の危険回避に関する対策の促進

(1) 防犯教育の充実
(2) 集団登下校、ICタグ、スクールバス等を活用した登下校の安全確保の推進

文部科学省作成

コミュニティ・スクール、地域学校協働本部と連携した学校安全の取組

安全教育において、地域と学校の連携・協働体制の構築は重要

「地域学校協働活動」：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

- 学校と地域が一体となって防災・防犯・交通安全に取り組むことができる
- 教育課程内の取組においても、地域の力を生かした授業づくりが可能になる

学校（コミュニティ・スクール※）

※ 学校運営協議会を設置している学校を指す。

学校運営協議会

学校運営への必要な支援に関する協議を行う合議体。地域の実情に応じて防災・防犯・交通安全も協議され得る。

<主な役割>

①校長が作成する学校運営の基本方針の承認

②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること

③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができること



保護者、地域学校協働活動推進員、地域住民など

連携・協働

地域学校協働本部

地域学校協働活動を推進するための幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワーク



地域学校協働活動推進員

（地域と学校をつなぐコーディネーター）

※退職教職員、ＰＴＡ経験者などその地域と学校の実情を理解している人。



消防署、消防士、消防団員

保護者・地域住民・企業・ＮＰＯ等の様々な人・団体など

●授業づくりなど

「総合的な学習の時間」等の授業において、地域住民や消防署・消防団等の専門家と連携し、出前授業などを通じて防災・防犯・交通安全教育を実施。

・地域と学校の協働による防災マップや地域安全マップの作成

・学校内の安全点検への協力

地域と学校が連携した安全教育の実現（地域学校協働活動）

●地域と学校の協働による防災訓練、防災キャンプの実施

地域の防災訓練と学校の防災訓練を合同で実施。引き渡し訓練、防災かまどづくり、炊き出しシミュレーション等を地域住民と子供たちがチームとなって実施。

⇒実際に災害が発生した際に、学校が避難所となる場合において、発災直後の教職員による一時的な運営から住民・防災部局のスムーズな移行が可能になる



●実践的な防災体験学習

消防署や消防団等の専門家の協力の下、防災体験活動（起震車体験、ペットボトルろ過器の作成、ロープワーク体験、ＡＥＤ体験等）を実施。

●防犯・交通安全の取組

地域住民による登下校の見守り　等





文部科学省資料

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体：都道府県及び市町村　■補助率：国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3　※市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダーの育成支援

○スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

スクールガード・リーダーに対する活動支援

○スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助

○学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実



スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

○通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施

○活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

○「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援

○子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、見守りの人材確保と質の向上

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

目的・・・地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが、安全で安心して学校生活を送ることができる学校の確立をめざす。

②
スクールガード養成講習会の開催

☆スクールガード（学校安全ボランティア）を養成するための講習会の開催

①スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）の巡回指導等の実施

☆警察官OB等、防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして委嘱
☆学校への巡回指導、登下校の見守り活動への助言、を実施

③
スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施

☆スクールガード等を増員するための広報活動等の施策を実施
☆学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を見守る活動を実施

地域ぐるみで子どもの安全を守る体制の確立

高知県犯罪のない安全安心まちづくり条例

第１６条１項　学校等における児童等の安全の確保のための指針
第１７条１項　通学路等における児童等の安全の確保のための指針

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：２/3（国1/3・県１/3） ＊中核市除く市町村が対象

◎次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

	事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R８年度の状況
①	スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）巡回指導等	・警察官ＯＢや教職員ＯＢ、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。 ・スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導や、スクールガード（学校安全ボランティア）に対する助言等を行う。 ・スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができることとするが、小学校５校に対して１名程度の割合を原則とする。 ・なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。	・報償費	（注意事項） 国の予算等の都合により希望どおりとならない場合があります。 ・報償費のみ。１日２時間以上の活動、５千円を上限とする。 ・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。	・23市町村で実施 ・スクールガード・リーダー46名に委嘱
②	スクールガード養成講習会	・学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 ・なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。	・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費、消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料）	・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。 ・ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。	・安芸市で実施
③	スクールガード等の増員のための活動及び学校安全活動	・スクールガード等を増員するための広報活動等施策を実施する。 ・安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。	・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費・消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料）	・帽子や腕章など見守り活動に直接必要な経費及び家庭や地域の関係機関・団体と連携の場の構築に必要な経費とし、１市町村につき6万円を上限とする。ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。 ・なお、消耗品費等については、学校やＰＴＡが使用するものと明確に区別すること。 ・スクールガード・リーダーやスクールガード等の装備品（さすまた、防刃ベスト・グローブ等）を対象とすることができる。 ・備品購入費は、対象外とする。	・芸西村、香南市、南国市、いの町、椿原町、東洋町、日高村、大月町で実施

令和8年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業　スクールガード・リーダー名簿

	担当地域（市町村等）	氏　名	登録年度	巡回等学校数	うち小学校	拠点校（部署）	巡回担当予定校（園）	教育委員会 担当部署	教育委員会 担当者	教育委員会 連絡先（tel・fax）
1	室戸市	中野　金夫	H18	4	2	室戸市教育研究所	佐喜浜小、室戸小、佐喜浜中、室戸中	室戸市教育委員会学校教育課	門脇　一馬	tel 0887-22-5141 fax 0887-22-1120
2		栗尾　博義	H19	4	2		吉良川小、羽根小、吉良川中、羽根中			
3	安芸市	清岡　豊	H30	3	2	安芸市少年育成センター	川北小、土居小、安芸中	安芸市少年育成センター	小松　快正	tel 0887-35-1020 fax 0887-35-1051
4		小松　孝臣	H25	3	3		下山小、伊尾木小井ノ口小			
5		吉田　博幸	H31	3	3		赤野小、穴内小安芸第一小			
6	東洋町	生田　幹明	H23	2	1	野根中学校	野根小、野根中	東洋町教育委員会	生松　克祐 土屋　美奈子	tel 0887-29-3037 fax 0887-24-3102
7		光本　速雄	R2	2	1	甲浦小学校	甲浦小、甲浦中			
8	奈半利町	能勢　幸利	H22	2	1	奈半利町教育委員会	奈半利小、認定こども園なはり	奈半利町教育委員会	天野　恵太	tel 0887-38-8188 fax 0887-38-8166
9	北川村	牛窓　雅人	R3	2	1	北川村教育委員会	北川小、北川中	北川村教育委員会	大西　貴美子	tel 0887-32-1223 fax 0887-32-1132
10	安田町	南　久雄	R2	2	1	安田町教育委員会	安田小、安田中	安田町教育委員会	大寺　博子	tel 0887-38-6714 fax 0887-38-6717
11	芸西村	竹内　恵介	R5	4	1	芸西村教育委員会	芸西小、芸西中、芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会	都築　青空	tel 0887-33-2400 fax 0887-32-2014
12	香南市	岡﨑　勉	R6	5	3	香南市教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、夜須中、香我美中	香南市教育委員会学校教育課	西岡　孝紘 ～5月 石原　正仁 5月～	tel 0887-50-3019 fax 0887-50-3020
13		内藤　雅廣	R3	6	4		赤岡小、野市小、野市東小、吉川小、赤岡中、野市中			
14	南国市	比江森　信子	R2	3	3	南国市教育委員会	久礼田小、国府小、奈路小	南国市教育委員会学校教育課	岩田　洋輔	tel 088-880-6568 fax 088-880-6201
15		谷口　省文	H24	4	4		後免野田小、長岡小、日章小、大篶小			
16		田中　晋	H27	4	4		大篠小、三和小、稲生小、十市小			
17		田岡　久典	R5	1	1		白木谷小			
18		久川　彩	新	1	1		岡豊小			
19	大豊町	都築　清	R4	1	1	大豊町教育委員会	大豊学園（義務教育学校）	大豊町教育委員会人づくり班	長谷川　拓史	tel 0887-72-1031 fax 0887-72-1032
20	いの町	石川　直正	R5	2	1	いの町教育委員会	伊野南小、伊野南中	いの町教育委員会	折付　日和	tel 088-893-1922 fax 088-893-2121
21		黒石　大	R6	1	1		枝川小			
22		梅谷　圭二	R7	1	1		川内小			
23	土佐市	入吉　祐介	R8	6	4	土佐市少年育成センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第一小、高岡中、宇佐小	土佐市少年育成センター	田原　竜平	tel 088-852-7696 fax 088-852-5241
24		矢野　泰幸	H30	6	5		高岡第二小、蓮池小、波介小、北原小、戸波小、戸波中			
25	須崎市	谷脇　秀幸	R3	4	3	多ノ郷小学校	多ノ郷小、吾桑小、浦ノ内小、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会学校教育課	森　充弘	tel 0889-42-5291 fax 0889-40-0073
26		西森　茂幸	R5	5	4	須崎小学校	上分小、新荘小、安和小、須崎小須崎中			
27	日高村	松木　敏一	新	5	3	日高村教育委員会	加茂小、日下小、能津小日高中、加茂中	日高村教育委員会	澁谷　修平	tel 0889-24-5115 fax 0889-20-1572
28	椎原町	今井　久光	R2	2	1	椎原学園	椎原小椎原中	椎原町教育委員会生涯学習課	山本　智也	tel 0889-65-1350 fax 0889-40-2055
29	中土佐町	堅田　謙洋	R7	7	3	中土佐町教育委員会	久礼小学校、上ノ加江小学校、大野見小学校、久礼中学校、大野見中学校、久礼保育所、大野見保育所	中土佐町教育委員会	梅原　幸司	tel 0889-52-2661 fax 0889-52-2013
30	四万十町	清藤　泰彦	R7	2	2	四万十町少年補導センター	窪川小、東又小	四万十町教育委員会生涯学習課	森田　工	tel 0880-22-3576 fax 0880-29-0073
31		野村　和弘	R5	4	4		七里小、米奥小、影野小、仁井田小			
32		田辺　卓	新	3	3		田野々小、十和小、北ノ川小			
33	四万十市	酒井　敏	R2	5	3	具同小学校	具同小、利岡小、中村小中村西中、中村中	四万十市教育委員会学校教育課	宮﨑　智也	tel 0880-34-5445 fax 0880-34-4271
34		林　正秋	H30	4	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、八束小			
35		芝　正司	R5	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中			
36		松本　公夫	R6	5	4	東山小学校	東山小、大用小、蕨岡小、中村小、中村中			
37		渡会　由佳	新	4	3	中筋小学校	中筋小、東中筋小、具同小、中村西中			
38	土佐清水市	安岡　孝利	R1	1	1	土佐清水市少年補導センター	三崎小	土佐清水市少年補導センター	永野　博文	tel 0880-82-3501 fax 0880-83-0782
39		田村　雅宏	新	2	1		清水小、清水中			
40	宿毛市	瀧本　節	R7	3	3	宿毛市青少年育成センター	宿毛小、平田小、山奈小	宿毛市教育委員会学校教育課	石黒　満也	tel 0880-62-1246 fax 0880-62-1272
41		野々下　直人	R7	4	4		宿毛小、大島小、咸陽小、小筑紫小			
42	黒潮町	大石　正幸	H19	3	2	黒潮町こどもサポートセンター	拳ノ川小、佐賀小、佐賀中	黒潮町教育委員会生涯学習係	宮上　昌人	tel 0880-55-3117 fax 0880-55-3119
43		國友　積	H28	5	4		上川口小、南郷小、入野小、三浦小、大方中			
44	三原村	榎　喜章	H30	2	1	三原村教育委員会	三原小、三原中	三原村教育委員会学校教育係	多智花　宏美	tel 0880-46-2559 fax 0880-46-2560
45	大月町	吉岡　利昌	R1	2	1	大月小学校	大月小、大月中	大月町教育委員会	島﨑　陸	tel 0880-73-1118 fax 0880-73-1815
46		佐伯　和弘	R5	2	1		大月小、大月中			
	23市町村	計　46人		148	107					

愛犬家の皆さんへ

～ 子どもたちを犯罪から守ろう ～

わんわんパトロール運動 に ご協力ください

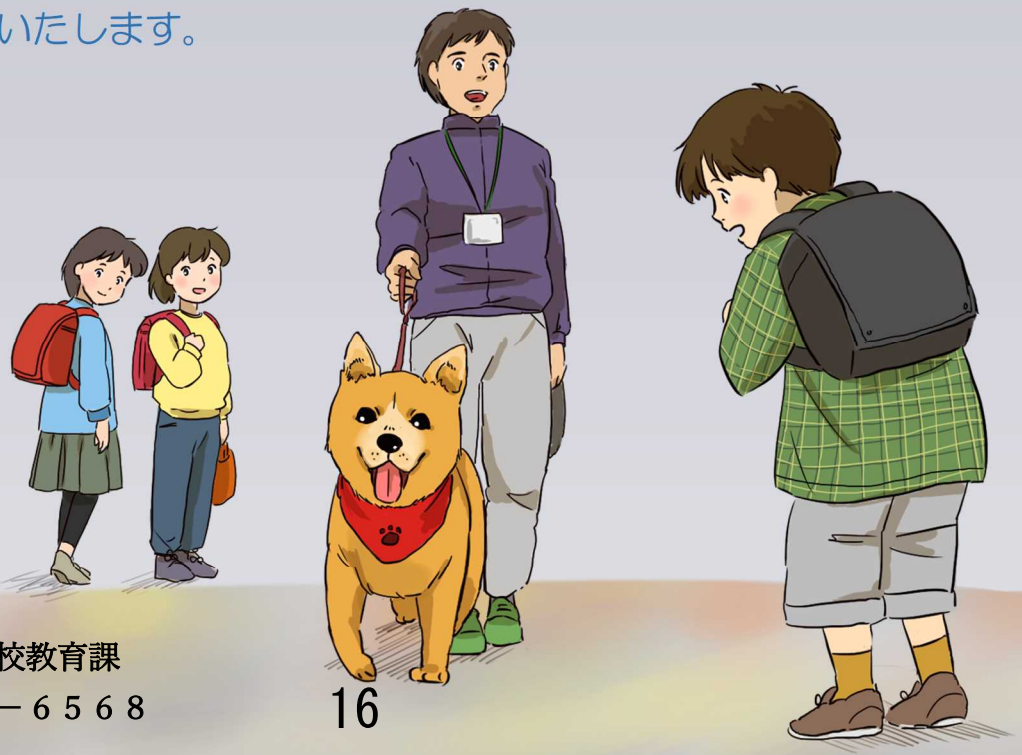
登下校時の子どもたちの安心・安全を守るために、南国市教育委員会では、学校・保護者・地域住民と協力しながら、地域ぐるみの地域安全ボランティア活動を推進していきます！！

わんわんパトロールとは？

愛犬家の皆さんのご協力を得て、子どもたちの登下校時
（登校：７時３０分～８時１０分、下校：１５時３０分～１６時３０分ごろ）
に合わせて、犬の散歩コースを通学路などにして、地域みんなで「見守りの目」を広げるものです。

昨今、全国的にみると、子どもの下校時間帯において、犯罪被害が多く発生している傾向があります。地域の温かい見守りの目を増やし、子どもたちの安心・安全を守っていきましょう。ぜひ、ご協力をお願いします！！

協力者には南国市教育委員会から委嘱状と名札及びバックを、愛犬にはバンダナを配付いたします。



【登録申請 QR コード】

【問い合わせ先】
南国市教育委員会学校教育課
（０８８）８８０－６５６８

令和８年度
スクールガード・リーダー活動内容



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長　山下正和 氏

高知県教育委員会

令和８年度　高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

事業の目的

子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。



事業の内容

⑴　スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）の巡回指導等の実施
⑵　スクールガード養成講習会の開催
⑶　スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施



◆スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施

スクールガード・リーダー

⑴　３つの視点をもった活動（防犯の視点、組織連携の視点、教育の視点）
⑵　巡回指導を通しての現状把握、課題発見、情報発信
⑶　スクールガード（学校安全ボランティア）による見守り活動のポイント指導
⑷　スクールガード・リーダー同士の情報交換

市町村教育委員会

⑴　スクールガード・リーダーとの情報共有
⑵　事業の主旨・内容について学校への周知徹底
⑶　スクールガード（学校安全ボランティア）の立ち上げ及び活動の充実
⑷　地域の防犯体制づくり（「登下校防犯プラン」に基づく）地域の連携の場の活用）

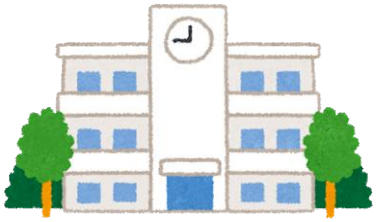
学　　校

⑴　「高知県安全教育プログラム」に基づく、防犯教育の推進（防犯教室・防犯訓練の実施、危機管理の徹底・不審者侵入への対応等）
⑵　スクールガード・リーダーやスクールガード（学校安全ボランティア）との情報共有
⑶　スクールガード組織（学校安全ボランティア）と協働した取組の実施
⑷　スクールガード・リーダー、教育委員会、警察、ＰＴＡ（保護者）、地域等との情報共有

◆スクールガード・リーダーの活動内容

1　学校や通学路の巡回指導

担当区域内の小学校等を巡回し、学校内や通学路の安全確保、学校に対する指導助言を行う。



(1)　**学校内の安全確保**

①　不審者侵入を防ぐための校門の開閉状況の確認

②　校門以外で学校への侵入が可能な場所の点検

③　学校への危険箇所の報告　　など



(2)　**通学路の安全確保（犯罪の起きやすい場所）**

①　危険箇所の点検・報告、児童生徒等の登下校の状況把握・指導

②　入りやすくて見えにくい場所（資材置き場、トンネル、空き家等）

③　落書き等のある場所

④　人通りの少ない道路

⑤　片側が長く続く壁等になっていて逃げ場のない道路　　など

(3)　**学校行事等における警戒**

(4)　**学校への防犯に関する指導助言**





スクールガード・リーダーによる、
学校周囲の確認活動、登下校時の見守り活動の様子。



２　スクールガード（学校安全ボランティア）への指導助言

地域ぐるみで学校安全の取組ができるよう、スクールガード（学校安全ボランティア）に対して指導助言を行う。

⑴　スクールガード組織（学校安全ボランティア組織）との連携
⑵　見守り活動のポイントについての指導助言
⑶　学校からの情報伝達（不審者情報、下校時刻の変更、休日に学校行事がある場合等）
⑷　学校や教育委員会がスクールガード組織（学校安全ボランティア組織）を立ち上げる際の協力





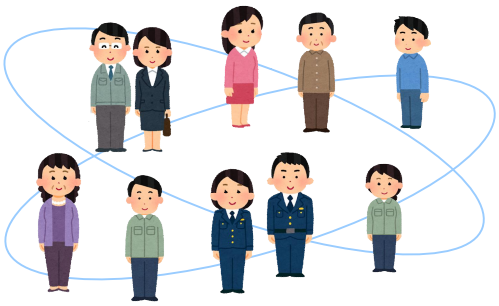
３　関係機関との連携

学校、教育委員会、警察、スクールサポーター等の関係機関との連携を図る。

⑴　不審者情報や事件等の情報の共有

⑵　緊急時における対応の確認

※　教育委員会は不審者情報等があった場合には、スクールガード・リーダーに連絡し、情報の共有を図る。また、緊急時の連絡体制を整備し、対応についてスクールガード・リーダーと確認する。







地域との連携強化
保護者・関係機関・地域の方が連携し、
見守り活動や安全確保、安全教育に協力いただく様子。

４　防犯教室、防犯訓練への参加

学校が開催する防犯教室や防犯訓練に参加し、警察等と連携して、子どもへの登下校中の防犯指導や学校への指導助言を行う。





スクールガード・リーダーの学校訪問による防犯教室の様子。

(1)　防犯教室（子どもへの指導等）の内容例

①　講義

②　実技、ロールプレイ（場面を想定した役割演技による訓練）

- 「いかのおすし」
- 「こども１１０番のいえ」
- 予防的な指導、事件に遭ったときの対処法



(2)　防犯訓練（教職員に対する指導等）の内容例

①　不審者侵入等を想定して、実際に対応、避難する訓練

- 子どもの安全確保について
- さすまた等、用具の使い方　等



②　危機管理マニュアルの確認・見直し

（※必要に応じて、訓練で明らかになった課題への対策をマニュアルに反映させる）

（※教育委員会は、学校から要請があった場合、協議のうえ、スクールガード・リーダーに防犯教室等への参加を依頼することができる。）







不審者対応訓練、不審者対応に関する研修会の様子。

関 係 機 関 連 絡 先

機関名	電話番号	住所	備考

※ 教育委員会や巡回学校、最寄りの警察署等、関係機関の連絡先などご記入ください。



令和3年3月　発行
令和6年6月　改訂
発行元：文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室

＼やってみよう！／

登下校見守り活動ハンドブック



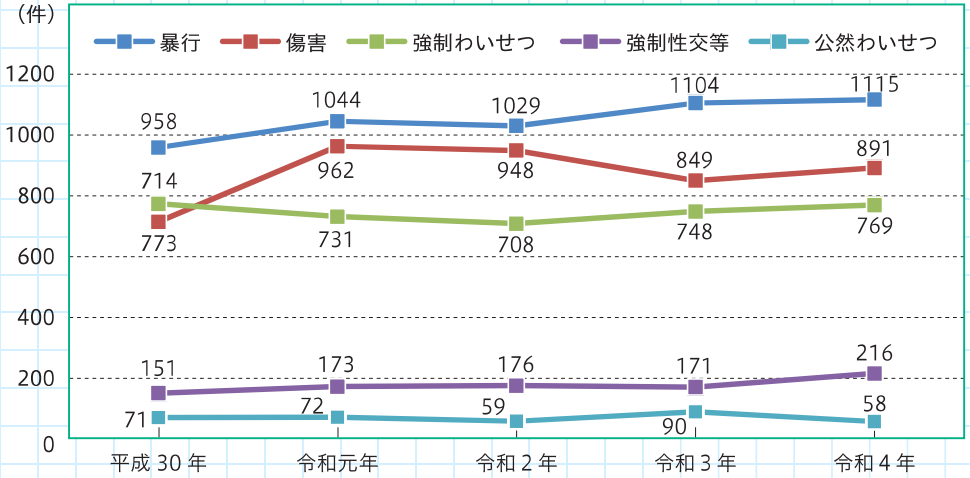
1 はじめに

安全・安心な登下校の実現に向けて

- 全国で子供が登下校中に犯罪被害に遭うケースがみられます。被害の多くは、子供だけで行動しているときや、人の目が少ない状況で発生しています。
- こうした犯罪被害を減らすためには、地域全体で、登下校中の子供たちの見守り活動をすることが欠かせません。
- 一方で、見守り活動を含めた防犯ボランティア活動者数は近年減少しており、今、みなさんの協力が求められています。



子供（13歳未満）の被害件数及び被害状況の推移（刑法犯）



〈出典〉令和５年版警察白書より作成

地域ぐるみの見守り活動と効果

- 登下校時の見守り活動は、学校を中心に、保護者やPTA、地域住民、行政、警察、民間企業、地域団体等が一致団結して連携・協働し、地域全体で取り組むことが重要です。
- 一人一人ができる範囲で、子供たちや地域へ目を向け、見守り活動を実施することで、犯罪や事故が起きにくい環境をつくることができます。
- なお、見守り活動は無理なく行いましょう。小さな取組の積み重ねによって、地域全体で子供たちの安全を守る環境が生まれるとともに、地域コミュニティの活性化も期待できます。



ハンドブックについて

このハンドブックは、これから見守り活動を始めようと思っている方々に向けて、必要な心構えや活動方法などの見守り活動の基本を紹介するだけでなく、既に見守り活動を行っている方々に対しても、見守り活動の効果を高めるポイントや優良事例を紹介しています。
保護者やPTA、地域住民、学校、行政等、見守り活動に関わる全ての方々に参考としていただける内容となっています。

❷ 活動してみよう

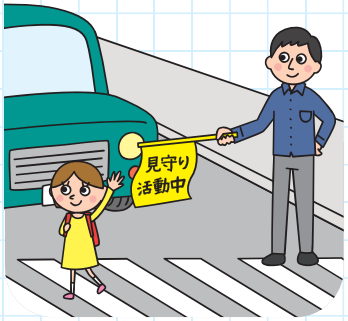
見守り活動の例

● 見守り活動の代表例として次のような活動があります。

定点見守り

特に交通量の多い交差点や、見通しの悪い道、人通りの少ない道などに立って、子供が安全に通行できているか見守ります。

立つ場所は、活動者が自ら考えて決める場合や、活動団体や組織で決まった場所とする場合などがあります。



点検・巡回

登下校中に限らず、通学路を点検・巡回しながら危険箇所を把握し、学校や市町村へ報告することも重要な見守り活動のひとつです。



登下校への付き添い

特定の区間あるいは学校まで子供に付き添って見守ります。

通学路が広域にわたる場合には地区ごとに付き添いの引き継ぎをする例や、活動者の自宅周辺の子供にスクールバスの停留所まで付き添う例もあります。



ながら見守り

特に登下校時間帯に合わせて外に出て花に水やりをする、家の前で掃き掃除をする、通勤時間をずらす、犬の散歩をするなど、時間と場所を工夫して、何かをしながら登下校中の子供たちを見守ります。

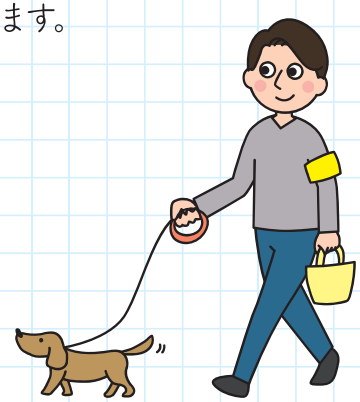


見守り活動の心構え

- 地域住民による見守り活動は「地域活動」の一環です。警察等が実施するような「警戒・パトロール（警ら）」ではありません。
- 一人一人が無理なく、できる範囲で取り組むことが重要です。

見守り活動の始め方

- 「子供見守り隊」や「スクールガード」、「安全サポーター」等、見守り活動団体の呼び方は様々です。既に活動している団体について知りたい場合は、お住まいの市町村や近くの学校に問い合わせてみてください。
- また、こうした団体に所属せずに行う「ながら見守り」等も大切な見守り活動の一つです。各自のライフスタイルに合わせて、子供たちや地域へ少しだけ意識を向けることで、登下校時の「子供たちを見守る目」や、通学路の「危険箇所の発見」を増やすことにつながります。



見守り活動者の方々へ　活動を始める前に確認しましょう

■以下の行為はやめましょう。

- × 活動の強制
- × 警察が実施するような取り締まりや警棒等の武器の所持
- × 子供との過度なコミュニケーション（過度な接触、あめ・ガム等を含む飲食物の提供、自家用車や私有地への招待、連絡先の交換等）
- × 子供を叱る、しつけようとする行為（子供の安全を守るための指導は可）

■万が一に備えてボランティア保険や防犯協会等の団体保険に加入しましょう。保険料を補助する市町村もあるので、問い合わせてみましょう。

市町村・学校の方々へ　関心を持った人を大事にしましょう

■地域住民から「見守り活動をしたい」と問い合わせがあったら、見守り活動を所管する課・担当者につなぐ、あるいは実際に活動する団体のリーダー等に紹介するようにしましょう。

コラム1　見守り活動を始めたきっかけは自分のため。それが子供の安全につながる。

鳥取県湯梨浜町オレンジベスト隊　隊員

長続きする方は「自分のため」に活動している人が多いです。私自身も見守り活動により、子供たちの登下校時間に合わせて規則正しい生活を送れるようになりました。見守り活動を通じて、子供たちから元気をもらい、心身ともに健康な日々を過ごしています。

❷ 活動してみよう

見守り活動時の持ち物とは?

● 見守り活動時の持ち物の例は次のとおりです。必ずしも全てを準備する必要はありませんが、見守り活動中であることが一目で分かることが、活動のしやすさや、犯罪を防ぐ効果を得られるほか、子供の安心感にもつながります。

● 見守り活動に必要な装備品・携行品は、学校や市町村が貸出もしくは提供している場合がありますので、まずは相談してみましょう。

具体例 見守り活動時の持ち物やあると便利なものの例

■ベスト・ジャンパー	蛍光色など目立つ色とし、反射材が付いているとよい。
■帽子	蛍光色など目立つ色とし、反射材が付いているとよい。また、様々な季節に対応できるよう、夏用・冬用があるとなおよい。
■タスキ・腕章	蛍光色など目立つ色とするとよい。
■名札	見守り活動者であることを示すものとして携行するとよい。
■横断旗	横断歩道や交差点を見守る際にあるとよい。

※上記のものは、市町村が貸与したり、見守り活動団体が独自に準備したりする例が多くあります。



▲活動時の帽子・腕章・名札
（千葉県千葉市）



▲活動時のジャンパー
（宮城県白石市）

■携帯電話	緊急時にすぐ110番通報することができる。 また、学校や行政担当者の連絡先を控えておくのに便利。
■ペン・メモ帳	活動中に感じたことや危険箇所等の情報の記録に使用。
■懐中電灯	活動中に辺りが暗くなる場所では携行しているとよい。 なお、人や車両等には向けないようにしましょう。
■笛・防犯ブザー	危険が生じたときに、当事者や周囲に知らせるために携行しているとよい。
■飲料水	特に夏季の活動中には適度な水分補給が重要。



▲見守り活動中ステッカー（宮城県塩竈市）

見守り活動の効果を高めるためには?

▶「見てもらう」ことを意識しよう

- 見守り活動は、活動をしている姿を見てもらう（地域住民に活動を認知してもらう）ことが重要です。
- 活動が認知されることにより、子供や地域住民の安心感につながるのはもちろん、運転者が気を付けるようになる、犯罪を企てていた人が犯行をやめるなどの効果が期待できます。
- 一方で、子供や地域住民から見られていることを意識し、態度や言動、身だしなみに注意しましょう。また、警察が実施するような交通整理等は控えましょう。



▶挨拶や声かけをしよう

- 子供への挨拶・声かけはもちろんのこと、地域住民への挨拶も積極的に行い、見守り活動を実施していることを皆さんに知ってもらいましょう。
- 不審な行動を取る人や犯罪を企てている人は声をかけられることを嫌います。積極的な挨拶が、犯罪抑止につながります。
- 加えて、活動者同士でも積極的に挨拶をしましょう。活動者間のコミュニケーションは、地域コミュニティの活性化にもつながります。なお、良好なコミュニケーションには「挨拶（こんにちは）＋一言（状況はどうですか？ 初めてお会いしましたか？ 等）」がポイントです。

見守り活動者の方々へ　挨拶や声かけのワンポイント

- 子供たちの横断のために止まってくれた運転者に対して会釈するなどの、少しの心遣いが運転者の協力しようという意識につながります。
- コミュニケーションが苦手な子供もいます。挨拶を返さなかった子供に対して「挨拶しなさい」などと叱ることは控えましょう。

▶ 地域ぐるみで連携・協働しよう

- 見守り活動をさらに効果的なものにしていくため、学校や市町村、警察と連携し、地域ぐるみで活動しましょう。
- 地域内で実施されている他の見守り活動者や防犯ボランティア団体とも積極的にコミュニケーションを取り、見守り活動上の役割や見守る時間・場所を分担するなど、協働して活動しましょう。実際に活動している人をマッピングしてみると、見守りの空白地帯が分かりやすくなります。

市町村・学校の方々へ　見守り活動者と活動団体の連携・協働を主導しましょう

■市町村内で活動する団体間の連携を図るには、市町村や学校の協力が必要不可欠です。積極的に交流できる機会をつくりましょう。
協議会や意見交換会、研修会等を開催するのも一つの手段です。

■「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」において見守り活動を取り上げたり、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の中で登下校の見守り活動を行うことも考えられます。

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動について

「学校と地域でつくる学びの未来」
https://manabi-mirai.mext.go.jp/

▶「ホウ（報告）・レン（連絡）・ソウ（相談）」を意識しよう

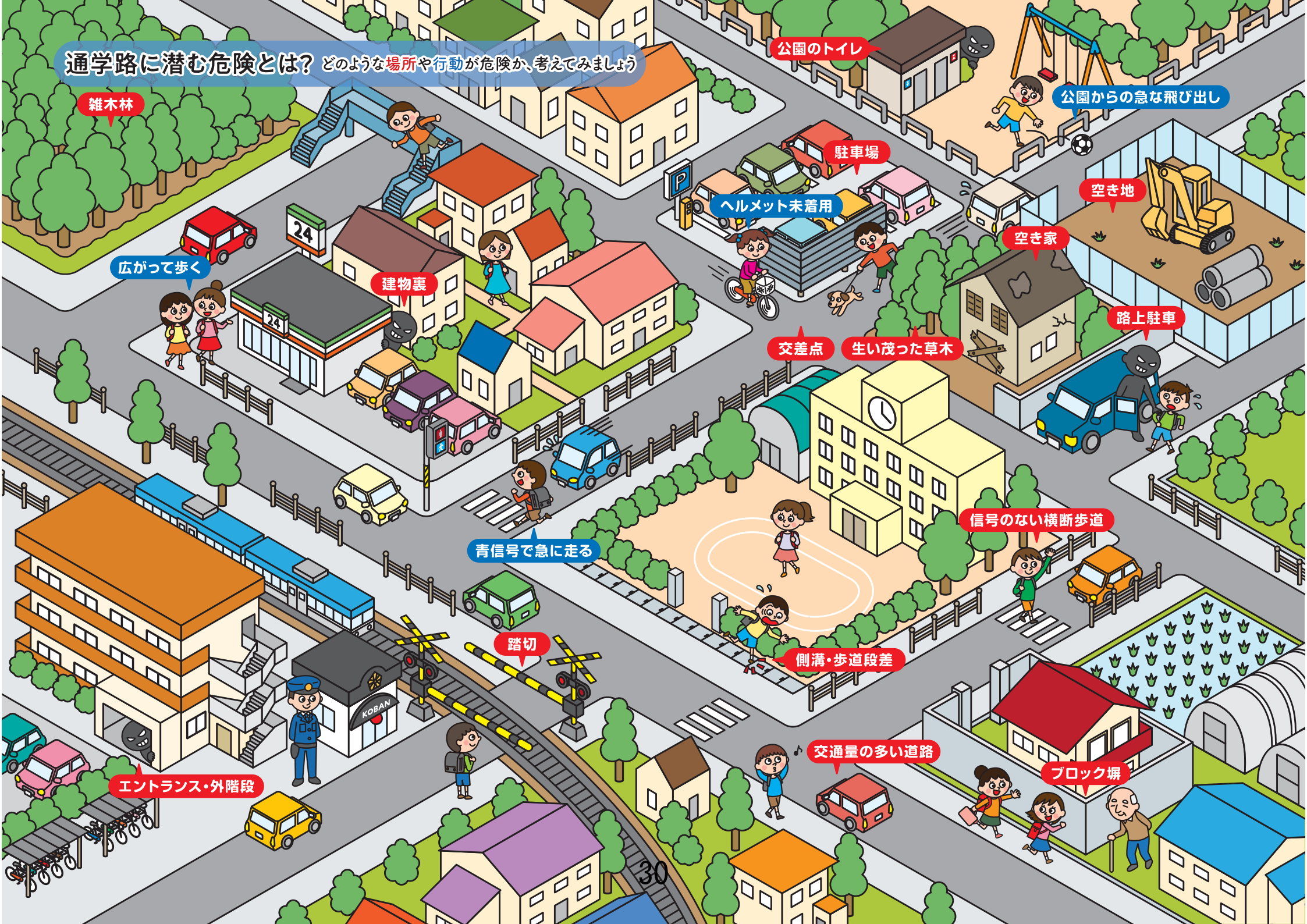
- 活動中に感じたことや気付いたこと、危険を感じたできごとは活動者間で共有しましょう。簡単な活動日誌を付けている例もあります。
- 場合によっては、学校や市町村に共有すべきこともあります。事前に連絡体制を構築し、「誰に（〇〇先生、△△主事等）」、「どのように（電話、メール、FAX等）」情報を連絡すべきか決めておきましょう。
- 市町村・警察等が配信する安全・安心メールやSNSを登録し、通学路の安全に関する情報をチェックしましょう。

市町村・学校の方々へ　連絡体制を明確にしましょう

■活動者は、日々見守り活動をしていると、危険だと感じる場所や不審な行動を取る人がいることなど、様々なことに気が付きます。何かがあったときに、誰に、どのように連絡すればよいか明確にし、活動者に伝えておきましょう。

■また、通学路の危険箇所や、活動中のできごと等、活動者からの指摘・相談にどのように対応したのか、対応するのかフィードバックしましょう。




通学路に潜む危険とは？ どのような場所や行動が危険か、考えてみましょう
雑木林
公園のトイレ
公園からの急な飛び出し
駐車場
ヘルメット未着用
空き地
空き家
広がって歩く
建物裏
路上駐車
交差点
生い茂った草木
信号のない横断歩道
青信号で急に走る
踏切
側溝・歩道段差
交通量の多い道路
ブロック塀
エントランス・外階段
KOBAN
24
30

見守り活動に係る注意事項

重点的に見守り活動を行った方がよい場所	交通安全の観点では、特に以下のような場所に注意が必要です。 ● **交通量の多い道路**　● **歩車道の区別がない道路** ● **路側帯が狭い道路**　● **車両の走行スピードが速い道路** ● **交通事故が頻繁に発生している道路**
	防犯の観点では、人通りが少なく、子供が一人になってしまう場所
見守り活動を行う際の留意事項	交差点などに立って見守るときには、自動車や自転車の死角とならない場所に立つようにしましょう。
	子供を横断させるために、過剰に自動車を停止させるなどの交通整理はやめましょう。 また、協力してくれたドライバーには一礼をするなど配慮しましょう。

子供の行動・特性に係る注意事項

● **子供（特に低学年の子供）は大人より視野が狭く、視点も低い**ため、大人と同じように危険を感じていないことがあることに留意しましょう。

子供の行動・特性	注意事項（チェックポイント）
飛び出し	公園などからの急な飛び出しに注意が必要です。 自転車・歩行者との出会い頭の衝突の危険があります。
急に走る	青信号に変わったときや踏切の遮断機が上がった途端に走り出す子供に注意が必要です。
広がって歩く	自転車などとの衝突の危険が高まります。また、他の歩行者や自転車の迷惑となるので注意が必要です。

ワンポイント　**忘れ物に気づき家に取りに帰ろうとする子供は、集団登校から離れ一人になってしまうだけでなく、忘れ物を取りに帰ることに集中するあまり、周りが見えなくなってしまうことがあるので特に注意が必要です。**

注意が必要な場所の例

場　所	状態（チェックポイント）
交差点	子供の飛び出しなど、出会い頭の事故のおそれがある場所です。
駐車場	駐車している車が死角となり、子供たちが隠れてしまうため、目が届きにくくなります。また、犯罪を企てている者が身を潜めやすい場所でもあります。
路上駐車	路上駐車は、その車両を避けて車道を歩くことによる交通事故の発生や、車からの声かけ、車への連れ込みなどのおそれもあり、歩車道の区別がない通学路では特に危険な場所です。
高架下・トンネル	特に夕方以降は暗くなるので注意が必要です。周囲からの見通しが悪く、人の目が届きにくくなる場所です。
（集合住宅等の）エントランスや階段	集合住宅等のエントランスや階段は、周囲からの死角となるほか帰宅時の子供が一人になる瞬間でもあり、犯罪を企てている者に狙われやすい場所でもあります。
建物裏	人通りのある大通りから見えにくいなど、建物裏は死角となり、人の目が届きにくくなる場所です。
公園のトイレ	トイレの中はもちろん、トイレの裏側なども人の目が届きにくい場所です。
ブロック塀	背の高いブロック塀は死角となり、子供たちが周囲から見えにくくなる場所です。また、適切な管理がなされていない場合、倒壊することによるケガのおそれもあります。さらに、落書きなどがあると、地域の不安感につながります。
空き家・空き地	人の目が少ないほか、建物は死角となる場所です。また、老朽化した建物が倒壊するおそれもあります。
雑木林	雑木林の中は人の目が届きにくい場所です。一方、子供にとっては遊び場として魅力的なので、興味本位で中に入ってしまう子供に注意が必要です。
田畑	農作業をしていない時間は人通りが少なく、人の目が少ない場所です。また、ビニールハウスは周囲からの見通しも悪く、人の目が届きにくい場所です。
生い茂った草木	通学路にはみ出した草木は安全な通行の妨げになります。
側溝・歩道段差	側溝蓋のズレや歩道の段差は安全な通行の妨げになります。子供がつまづき、ケガをするおそれがあります。

③ こんなときどうする

活動中に交通事故や犯罪、不審な行動に遭遇したら

- 活動中に事故や犯罪に遭遇したら、自らの安全を確保した上で、すぐに110番通報しましょう。
- 必要に応じて学校や市町村へも報告しましょう。



見守り活動者の方々へ　緊急通報のポイント

■通報前には深呼吸をしましょう。

●緊急事態に遭遇すると、どうしても焦ってしまいます。
身の安全を確保した上で、まずは深呼吸してみましょう。

■適切な情報伝達を心がけましょう。

●落ち着いて、次の情報を正確に伝えましょう。

- □ 何が起こったのか（誰がどういう被害に遭ったのか）
- □ いつ・どこで起こったのか
- □ 自分自身が今どこにいるのか、周囲はどういう状況か
- □ （できれば）犯人や事故を起こした車の特徴、逃走した方向

※自分の居場所がすぐにわからない場合は、道路名、交差点名、電柱、標識等の情報を伝えましょう。

市町村・学校の方々へ　何かあったらすぐ通報するよう伝えましょう

■見守り活動はあくまでもボランティアであり、活動者の安全が第一です。見守り活動中に、もし犯罪者や不審者に遭遇した場合は、速やかに警察に通報することとし、無理な追跡等は行わず、危険を感じたときは、防犯ブザーやホイッスル等を吹鳴させるなどし、周囲へ危険を知らせ、避難するなどして自分や児童生徒の安全を確保してください。

※「自主防犯ボランティア活動支援サイト」の自主防犯活動 Q&A（警察庁生活安全教生活安全企画課）を参考に記載

活動中に危険箇所や不審な行動を発見したら

- 活動中に、通学路の危険箇所や、不審な行動を目撃したら、学校や市町村へ連絡・相談しましょう。
- 緊急性が高いと判断した場合は、警察へ連絡するようにしましょう。
- 報告事項について、様式を作成している例もあります。

具体例　情報連絡シート（例）

■情報共有の際には、次のような項目を報告しましょう。

報告日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
報告者	〇〇　〇〇（活動団体名：〇〇〇〇〇〇〇〇　）	
項　目	危険箇所の発見	不審な行動の目撃
時　間		● 〇〇時〇〇分頃
場　所	● 〇〇交差点付近 ● 〇〇～〇〇までの道のり	● 〇〇公園内
具体的内容・特徴	● 〇〇交差点手前で側溝の蓋が外れている ● 〇〇～〇〇付近の草木が通学路を邪魔している	● 遊んでいる子供たちに長時間スマホを向けている人がいた
その他	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
対　応	● 担当課へ連絡（〇月〇日） ➡ 対処（〇月〇日）	● 警察・学校へ連絡（〇月〇日） ➡ 巡回を強化するとのこと

❹ 持続可能な活動に向けて

無理をしない、無理をさせない活動を心がけよう

▶活動は、日頃の行動範囲を中心にしよう

- 見守り活動場所の分担は、活動者の自宅や通勤先等を基準に考えましょう。
- 活動場所までの移動手段を踏まえて、活動範囲を無理なく決めましょう。

▶ライフスタイルに合った活動をしよう

- 時間帯や頻度、方法はライフスタイルに合わせて無理なく活動しましょう。
- 各自が少しずつ、できる範囲で子供や地域に目を向けることが大切です。

▶楽しく活動しよう

- 一人一人が協力し合い、楽しく活動しましょう。
- 活動者同士だけでなく、保護者、学校、市町村、警察、地域住民等が思いやりながら、互いに強制することなく楽しみながら活動することが大切です。

市町村・学校の方々へ　見守り活動者の心のケアにも留意しましょう

■活動中、通学路で何かが起こっても活動者に責任はありません（※）。しかし、活動者は心を痛め、自らを責めてしまう方が多く見受けられます。活動者がいなくなることは地域全体の損失となるため、活動者はあくまでもボランティアで、かつ責任はないことを広く周知することが大切です。

※活動者の不法行為等に起因して発生した場合を除く

コミュニケーションを大切にしよう

▶挨拶をしよう



- まずは挨拶を大切にしましょう。
- また、「お疲れ様」「ありがとう」などの言葉をかけ合い、互いに気持ちよく活動しましょう。

▶日頃から顔を合わせ、交流を深めよう

- 活動者同士が顔を合わせる機会をつくりましょう。
- 意見交換会や連絡会、ワークショップ、研修会等は活動者同士の理解を深め、信頼関係を醸成するよい機会です。
- 見守り活動者同士の絆は、地域コミュニティの絆にもつながります。

見守り活動者の方々へ　日頃からコミュニケーションを取り、顔の見える関係づくりをしましょう

■適切な情報共有に向け、日頃から他の活動者、市町村・学校担当者とのコミュニケーションを図り、いざというときのために、顔の見える関係づくりをしましょう。こうした関係づくりは、地域コミュニティの活性化にもつながります。

市町村・学校の方々へ　コミュニケーションの場を提供しましょう

■地域全体で見守り活動を実施するには、市町村や学校がコミュニケーションの場をつくることが大切です。意見交換会や連絡会、ワークショップ、研修会等、できるだけ多くの活動者が一堂に会することのできる場を積極的に提供しましょう。
また、こうした場で活動者のニーズを把握することも重要です。

いろいろな人を巻き込もう

▶ 見守り活動者の募集方法を工夫し、様々な世代を巻き込もう

- 積極的な情報発信を行い、老若男女、様々な世代の活動者を募集しましょう。
- 情報発信する際には、幅広い世代の活動者を確保するため、市の広報誌やホームページだけでなく、SNSや学校の広報誌・ホームページを活用するなど、募集する方法を変える工夫をしましょう。
- また、募集に当たっては、活動者のメッセージを入れるなど、読んでもらう工夫をしましょう。

コラム2 みんなに知ってもらえると、活動しやすくなります

京都市立御室小学校「御室こども見守り隊」隊員（大学院生）

大学2年生のときに、苦手な早起きを克服したいという思いと、学校や子供が好きで何か役に立ちたいという思いから見守り隊に参加しました。

活動開始当時は一人だけ年齢が離れていたためか「あの人は誰？」「なぜ立っているの？」と思われたこともありました。しかし、PTAの広報誌に顔写真付きで見守り隊の活動が紹介されてからは、保護者や子供の理解も得られ、活動中に声をかけていただくなど、活動がしやすくなりました。

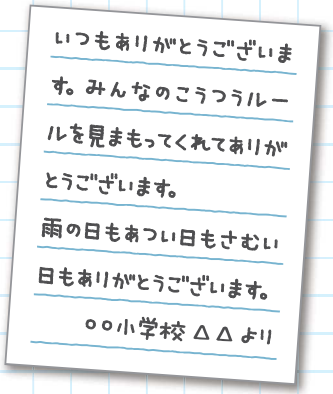
見守り活動者のモチベーションを向上させよう

▶ 積極的に情報発信をしよう

- 見守り活動の様子などを知ってもらうことは、活動のしやすさや、活動者のモチベーションアップにつながります。
- 様々な手段を活用し、積極的に情報発信をしましょう。

▶ 日頃から感謝を伝えよう

- 活動者にとって子供や地域の人からの「ありがとう」の一言はとても励みになります。
- 活動者に感謝の気持ちを届けるために、学校や市町村がそういった機会を設けるのもよいでしょう。



市町村・学校の方々へ　見守り活動者への感謝を忘れないようにしましょう

■見守り活動の実施は一般的な取組となりましたが、見守り活動者が“いて当たり前”ではありません。保護者や子供による感謝の会を開いたり、日頃から見守り活動が地域にもたらす安心感を積極的に発信するようにしましょう。

コラム3 子供たちの成長も見守っています

石川県金沢市立夕日寺小学校「夕日寺スクールサポート隊」隊員

活動を続けていると、1年生だった子供がいつの間にか6年生になっていたり、卒業生の中学生や高校生が挨拶をしてくれたりと、子供たちの成長を見守ることに喜びを感じています。

事業別・市町村別一覧（R7実施・R8実施予定）

資料3

R8.10.1 現在

	市町村名	地域学校協働活動 本部数		地域学校協働活動 実施学校数 小学校		中学校		義務教育学校		高等学校 特別支援学校		幼稚園 保育園		放課後児童対策パッケージ（小学校） 児童クラブ		子ども教室		家庭教育支援事業	
		R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8	R7	R8
1	室戸市	5	5	4	4	4	4					1	1	2	2	3	3		
2	安芸市	9	9	8	8	1	1							6	6	8	10		
3	南国市	17	17	13	13	4	4							18	18	3	3		
4	土佐市	11	11	9	9	3	3							8	11	7	7	○	○
5	須崎市	10	9	7	7	5	2							6	6	4	4	○	○
6	宿毛市	10	10	7	7	5	5							3	3	4	4	○	○
7	土佐清水市	1	1	2	2	1	1							1	1	4	5	○	○
8	四万十市	15	15	13	13	3	3							15	16	8	8		
9	香南市	9	9	7	7	4	4							12	12	2	2		
10	香美市	9	9	7	7	3	3					1	1	10	10	4	4	○	○
11	東洋町	1	2	2	2	2	2					2	2			1	2		
12	奈半利町	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	○	○
13	田野町	1	1	1	1	1	1					1	1			1	1		
14	安田町	1	1	1	1	1	1					1	1			2	2		
15	北川村	1	1	1	1	1	1					1	1			1	1	○	○
16	馬路村	1	1	2	2	2	2									1	1	○	○
17	芸西村	1	1	1	1	1	1					2	2	1	1	1	1	○	○
18	本山町	1	1	2	2	1	1							1	1	2	2		
19	大豊町	1	1					1	1							3	3		
20	土佐町	1	1	1	1	1	1									1	1	○	○
21	大川村	1	1					1	1							1	1	○	○
22	いの町	8	8	7	7	5	5							8	10	4	2	○	○
23	仁淀川町	1	1	2	2	2	2									2	2	○	○
24	中土佐町	3	3	3	3	2	2					1	1	1	1	2	2	○	○
25	佐川町	5	5	4	4	2	2							3	3	3	3		
26	越知町	1	1	1	1	1	1							1	1			○	○
27	梼原町	1	1	1	1	1	1									1	1		
28	日高村	1	1	2	2	1	1							1	1	2	2	○	○
29	津野町	2	2	2	2	2	2					2	2			3	3	○	○
30	四万十町	13	12	9	9	3	3							1	1	11	10	○	○
31	大月町	1	1	1	1	1	1									1	1		
32	三原村	1	1	1	1	1	1									1	1		
33	黒潮町	1	1	6	6	2	2									4	5		
34	学校組合	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)							1	1				
35	高知市	52 (56)	52 (56)	38 (39)	39	14 (17)	13 (17)	2	2					88	88	41	41		
36	県立	10	10							10	10								
事業実施合計		**207**	**206**	**166**	**167**	**81**	**77**	**4**	**4**	**10**	**10**	**13**	**13**	**188**	**194**	**137**	**139**	**18**	**18**
合計		**(212)**	**(211)**	**(168)**	**(168)**	**(85)**	**(82)**	**4**	**4**	**10**	**10**	**13**	**13**	**188**	**194**	**137**	**139**	**18**	**18**

※地域学校協働活動の（ ）内の数字は、一財対応である高知市4校、学校組合2校を含む。

資料4

令和8年度　放課後子ども教室・放課後児童クラブ

取組状況調査（まとめ）



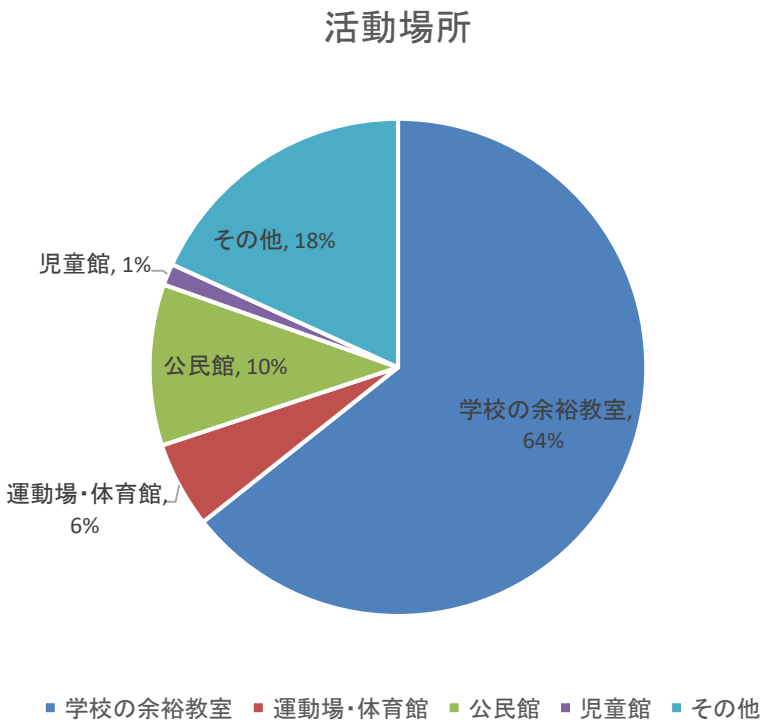




②放課後子ども教室の活動場所について（小学校）

令和８年９月現在

■主な活動場所



※高知市含む。

※施設の利用例

小学校	校舎内の空き教室、図書室、理科室、体育館、図工室 多目的教室、教室の一時的使用等
その他	集落活動センター、休閉校舎、旧保育園、男女共同参画センター 市立体育館、市立図書館、福祉館 コミュニティセンター、生活改善センター あったかふれあいセンター、市複合文化施設、児童センター、人権交流センター、集会所、県立高等学校

※学校施設の利用例

・長期休業中の校庭、体育館、プールの利用
・イベント開催時の多目的教室、体育館の利用
・月数回、もしくは不定期の校庭、体育館の利用
・雨天時の体育館等の利用

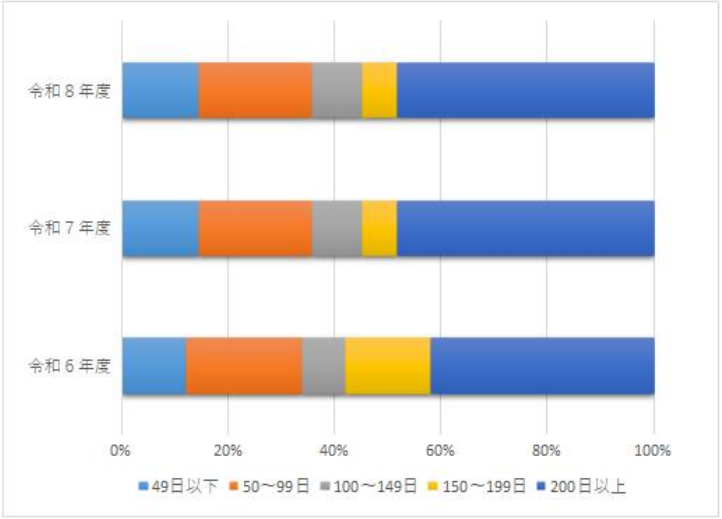
①放課後子ども教室の実施状況について（小学校）

令和８年９月現在

■開催日数の推移

日数	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	合計		高知市外	高知市	合計		高知市外	高知市	合計		高知市外	高知市
平均開催日数	151		174	96	160		185	103	162		186	103
49日以下	17	12%	13	4	20	15%	15	5	17	12%	12	5
50～99日	32	22%	8	24	29	21%	4	25	28	20%	3	25
100～149日	12	8%	10	2	13	9%	12	1	8	6%	6	2
150～199日	23	16%	21	2	9	7%	7	2	22	16%	21	1
200日以上	60	42%	51	9	66	48%	58	8	64	46%	58	8
合計	144		103	41	137		96	41	139		98	41

- 平均開設日数は増加傾向である。年度当初や長期休業空けに開設する自治体が増えており、実質的に放課後や長期休業中の居場所としても活用されることが増えてきている。



※高知市含む。

■土曜日等の開催について

開催の有無	令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		高知市外	高知市		高知市外	高知市		高知市外	高知市
開催している	98	68	30	117	86	31	111	80	31
平日のみ	46	35	11	20	10	10	28	18	10

③放課後児童クラブの実施状況について

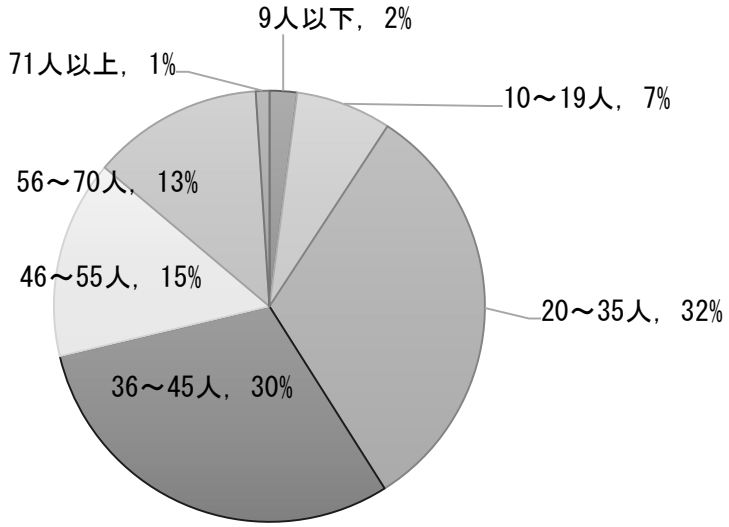
令和８年９月現在

■実施箇所数および児童数等

実施市町村	実施箇所数	登録児童数	待機児童数	放課後児童支援員等数	※参考（R7年度実績）放課後児童支援員認定資格研修修了者
１９市町村	106	3,549	120	561	47
高知市	88	3,972	48	308	18

■規模別実施状況

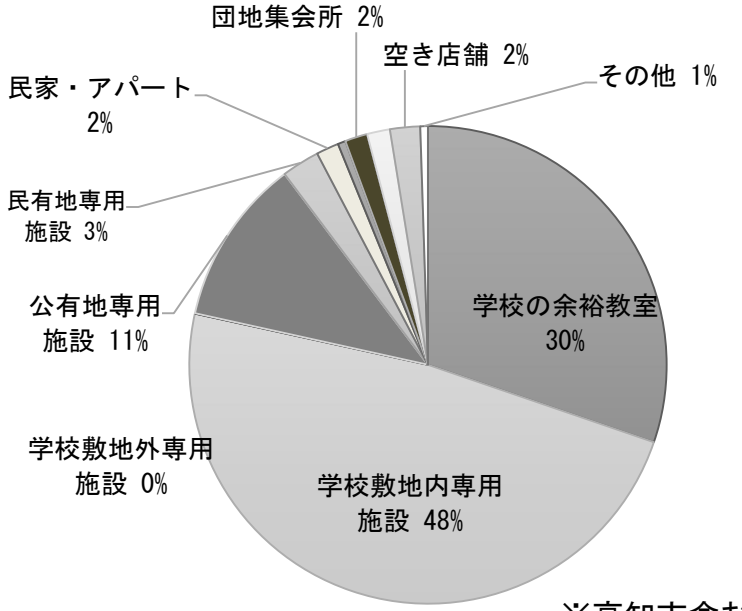
登録児童数の人数規模別でみると、45人までの児童クラブが全体の約7割を占める。



※高知市含む。

■実施場所の状況

実施場所は、学校敷地内専用施設と学校の余裕教室が全体の約8割を占める。

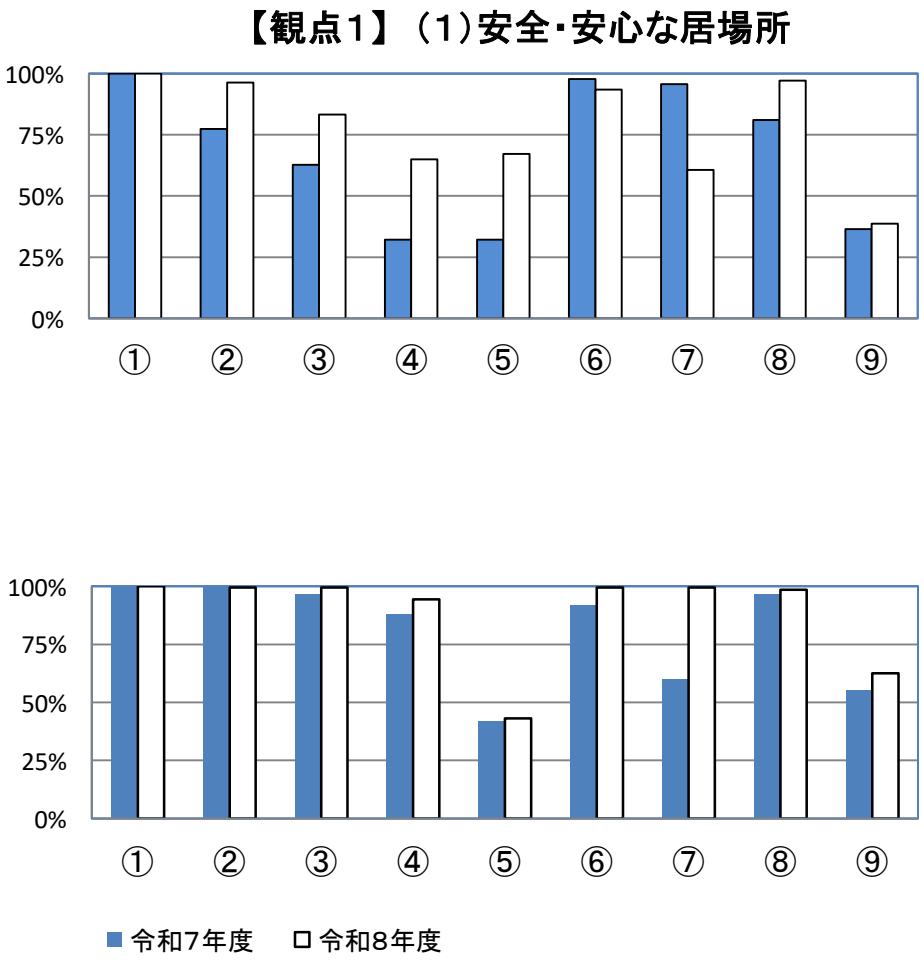


※高知市含む。

④県内の取組状況について（活動場所用より）

令和８年９月現在

◆安全・安心な居場所 （上：子ども教室、下：児童クラブ）



- 昨年度に比べ、緊急時対応マニュアルの作成及び緊急時対応訓練の実施については増加傾向にあるが、緊急時対応訓練の実施率は低い。

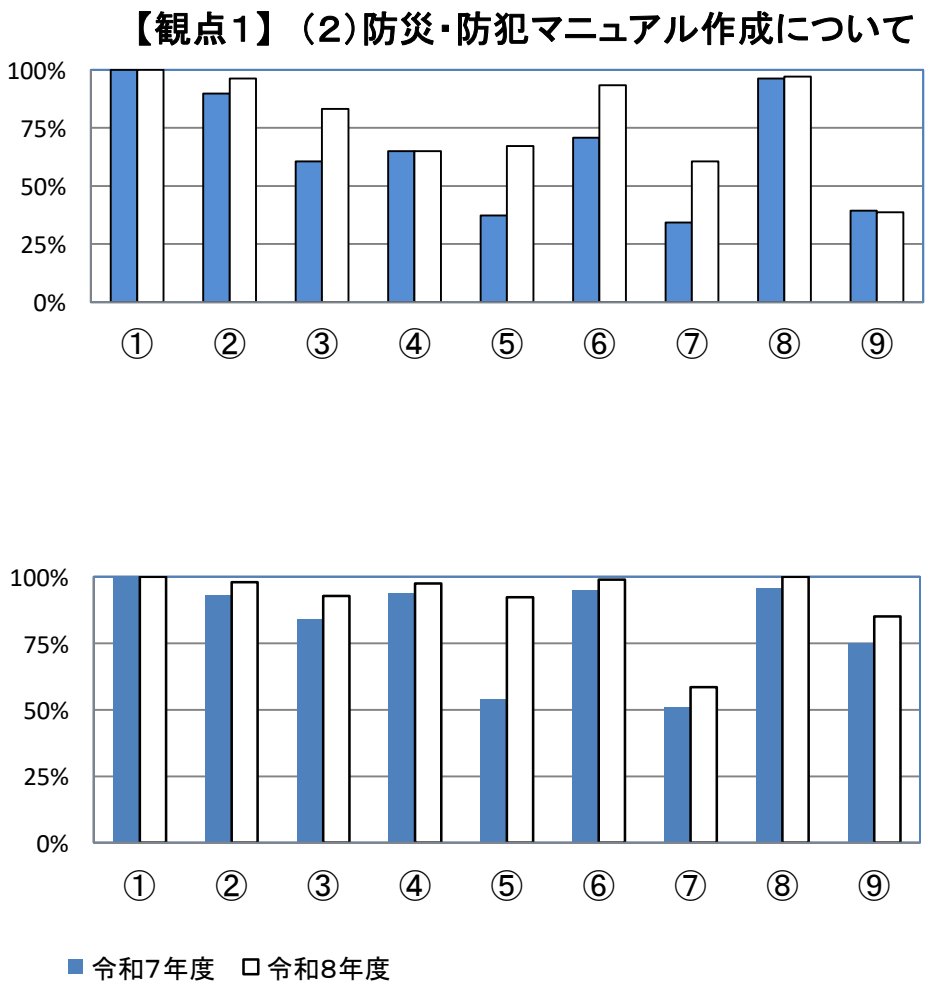
【参考】

（単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①出欠を確認できる出席簿	99	99	100	100
②活動日誌等の配置	90	76	99	99
③お便りなどの発行	69	60	99	99
④保護者との連絡帳等でのやりとり	43	33	90	94
⑤保護者会等の実施	45	32	73	43
⑥児童生徒の保険への加入	97	98	99	99
⑦指導員等の保険への加入	100	100	100	99
⑧緊急時対応マニュアル	95	96	98	98
⑨緊急時対応訓練の実施	53	40	90	63

※いずれも高知市含む。

◆防災・防犯マニュアル（上：子ども教室、下：児童クラブ）



・県内全ての放課後子ども教室及び放課後児童クラブで防災・防犯マニュアルの作成ができ、他の項目でも概ね前年度より数値が高くなっているが、マニュアルの更新が出来ていなかったり、項目によっては数値が低かったりすることがある。

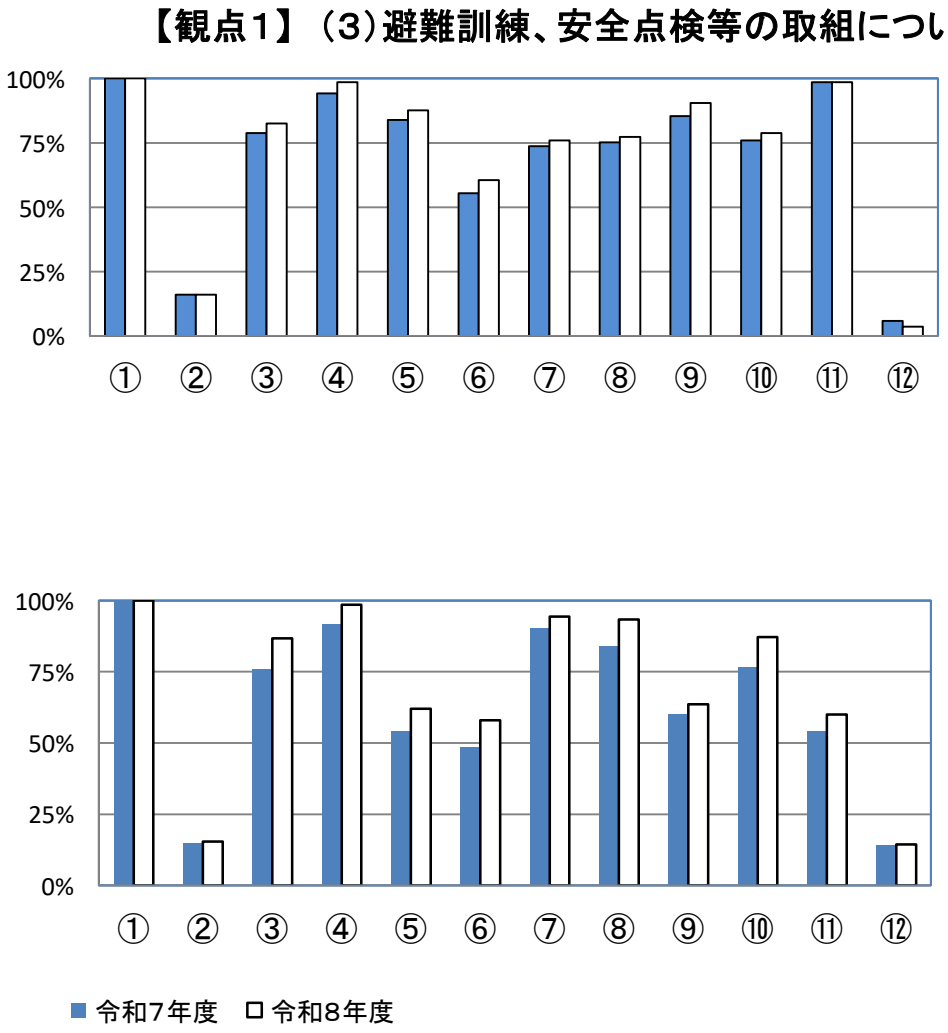
【参考】

（単位：％）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①防災マニュアルの作成	100	100	100	100
②緊急連絡先をまとめている	95	96	98	98
③経路図の作成	77	83	87	93
④緊急時連絡引渡カードの作成	80	64	95	97
⑤その他の備え	53	67	87	92
⑥災害時対応の児童共有	89	92	98	99
⑦不審者対応の児童共有	44	60	80	58
⑧災害時対応の支援員等共有	97	97	100	100
⑨災害時対応の保護者共有	53	38	77	85

※いずれも高知市含む。

◆避難訓練、安全点検等の取組 （上：子ども教室、下：児童クラブ）



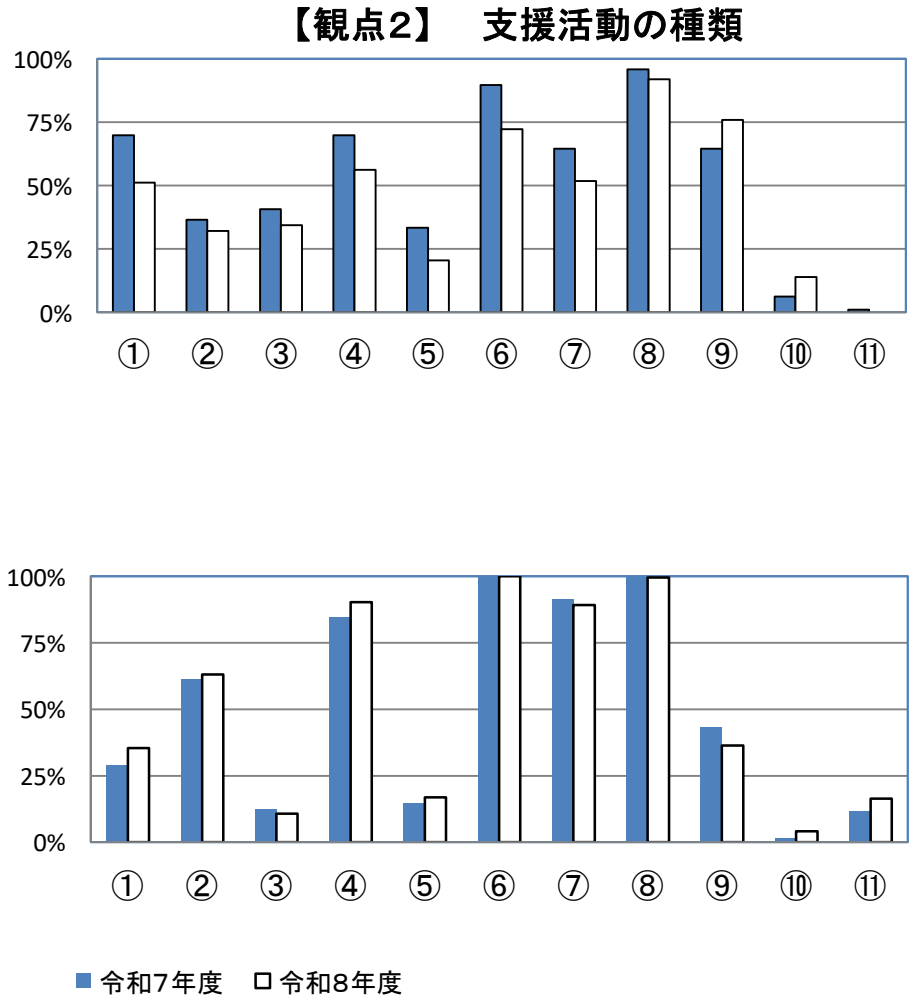
- 防災・防犯に関わる品に関しては、備えをしている現場は増えてはきているが、不十分でない箇所も一定数ある。
- ④「部屋の安全点検」に関しては、全ての放課後子ども教室及び放課後児童クラブで実施されるよう、自治体職員等に周知していく。

【参考】 （単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①避難訓練を実施	100	100	100	100
②地域の防災組織と連携	23	17	21	15
③学校との連携・協力体制	74	82	78	87
④部屋の安全点検	97	98	99	98
⑤防災用ヘルメット等の備え	83	88	97	62
⑥防犯グッズ等の備え	45	61	76	58
⑦非常持出品の準備	64	75	91	94
⑧棚やテレビなどの固定	68	78	90	93
⑨照明器具は固定している	87	91	91	64
⑩窓ガラス等の飛散防止対策	68	78	77	87
⑪緊急地震速報の受信端末	87	99	93	60
⑫その他	4	4	21	14

※いずれも高知市含む。

◆支援活動の種類 （上：子ども教室、下：児童クラブ）



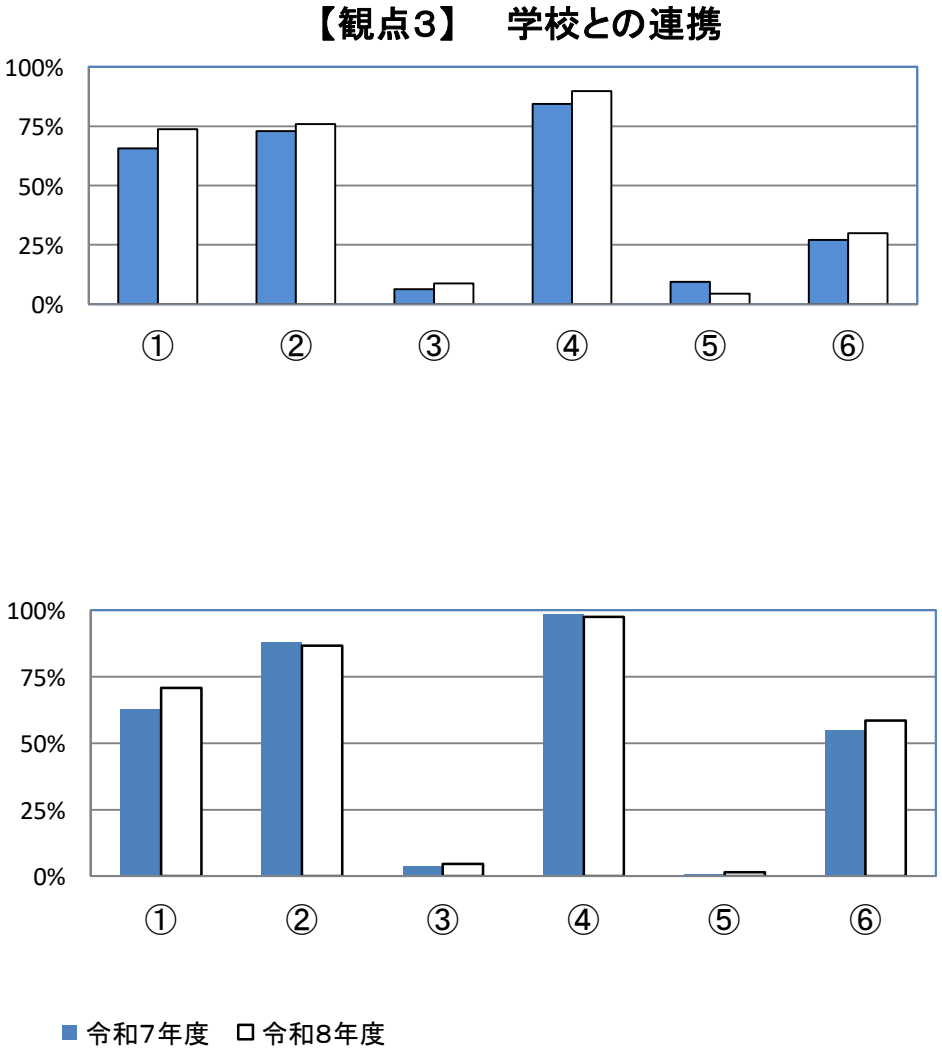
※いずれも高知市含む。

- 子ども教室及び児童クラブともに宿題⇒自由遊びを実施している割合が非常に高い。
- 研修会のアンケートでは、長期休業中の過ごし方で悩んでいる意見が一定数あるが、体験活動の実施有無に関しては自治体によっても差があることから、長期休暇に限らず、学校の振替休日や平日の学び場人材バンクの活用も含めて周知していく。

【参考】　（単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①スポーツ活動	68	51	59	35
②文化・芸術活動	44	32	36	63
③地域住民との交流活動	46	35	16	11
④体験活動	72	55	82	90
⑤親子参加イベント	29	20	27	17
⑥自由遊び	91	73	100	100
⑦読書	67	53	82	89
⑧宿題	96	92	99	99
⑨予習・復習、自主学習	69	76	57	36
⑩補習	7	14	3	4
⑪その他	0	0	22	16

◆学校との連携（上：子ども教室、下：児童クラブ）



- 国の放課後児童対策パッケージにおいて学校との連携の重要性が示されていることから、ヒアリングや現場訪問、研修会等にて市町村に働きかけていく。
- 人事異動等で連携が途切れている自治体や学校がある。学校との連携が円滑に進むよう、年度当初から市町村に働きかけをしていく。

【参考】　（単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①定期的な連絡	68	73	79	71
②必要に応じ学校関係者が足を運ぶ	70	76	91	87
③教職員等が学習指導を行っている	11	9	4	5
④必要に応じて連絡	88	89	97	97
⑤特に連携はしていない	6	4	1	2
⑥その他	34	29	68	58

※いずれも高知市含む。

資料5

NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業計画

令和8年９月３０日現在

登録状況	個　人	企業・団体	協　力 企業・団体
	313	**66**	**63**

登録者の属性は、大学生8、
現職教員13、退職教員10、塾講師9、
その他273、登録企業・団体66、協力企業・団体
63

【市町村別登録者数】

令和8年９月３0日現在

NO.	市　町　村	登　録　数		協　力 企業・団体	NO.	市　町　村	登　録　数		協　力 企業・団体
		個　人	企業・団体				個　人	企業・団体	
1	室 戸 市	7	0	1	19	大 豊 町	2	0	0
2	安 芸 市	2	0	0	20	土 佐 町	0	0	1
3	南 国 市	24	1	4	21	大 川 村	0	0	0
4	土 佐 市	15	2	0	22	い の 町	19	3	0
5	須 崎 市	11	4	0	23	仁 淀 川 町	3	0	0
6	宿 毛 市	9	0	0	24	中 土 佐 町	1	0	0
7	土佐清水市	7	0	0	25	佐 川 町	6	0	0
8	四 万 十 市	12	1	0	26	越 知 町	0	0	1
9	香 南 市	14	1	2	27	梼 原 町	1	0	0
10	香 美 市	26	1	2	28	日 高 村	2	1	2
11	東 洋 町	0	0	0	29	津 野 町	0	0	0
12	奈 半 利 町	0	0	0	30	四 万 十 町	7	3	0
13	田 野 町	1	0	1	31	大 月 町	1	2	0
14	安 田 町	3	0	0	32	三 原 村	0	0	1
15	北 川 村	0	0	0	33	黒 潮 町	5	1	1
16	馬 路 村	0	0	0	34	高 知 市	131	46	46
17	芸 西 村	1	0	1		県　外	1	0	0
18	本 山 町	2	0	0		合　計	**313**	**66**	**63**

【登録及び協力企業・団体】

令和8年9月30日現在　（順不同）

登 録 企 業

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	株式会社 相愛	出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	21	株式会社 伽羅巣	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
5	株式会社 JAエナジーこうち	職場見学・職場体験	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
6	株式会社 ソニック	出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
7	清和アグリス株式会社	出前講座	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	27	株式会社 タケナカダンボール	職場体験・出前講座
9	株式会社 RT	職場見学・職場体験	28	株式会社 土佐龍	出前講座
10	株式会社 クイーク	職場体験・出前講座	29	株式会社 ひがき	出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	30	株式会社 日東商事	出前講座
12	株式会社 オルトル	出前講座	31	有限会社 高知事務機	出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	32	株式会社 かんぽ生命保険高知支社	出前講座
14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座	33	有限会社 ラヴィ・ポーテ	出前講座
15	レンタル衣装わかば	出前講座	34	CEN 株式会社	出前講座
16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座	35	幡多信用金庫	出前講座
17	内外典具帖紙株式会社	出前講座	36	ワールドスポーツ(株).スポーツショップフットワーク	出前講座
18	学校法人 平成学園	出前講座	37	有限会社 ヨシオカ	出前講座
19	株式会社 フタガミ	出前講座	38	(株)チクリエイティブカンパニー	出前講座

登 録 団 体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークウィン	人材紹介・派遣	15	かわうその里お話の会	出前講座
2	環境活動支援センターえこらぼ	出前講座・人材派遣	16	四万十学舎	出前講座
3	高知県シェアリングネイチャー協会	出前講座	17	本のちょっとのあ・い・だ	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	19	四万十ふれあい動物村 プレーメン	出前講座
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	20	NPO法人黒潮実感センター	出前講座
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	21	海辺の自然史研究舎	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	22	日本３B体操協会高知県支部	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
10	しまんと新聞ぱっぐ高知支部	出前講座	24	（一財）高知県環境検査センター	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	25	103DAMA（とさ玉・けん玉）	出前講座
12	はぐくみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	26	田邉塾	出前講座
13	腹話術高知	出前講座	27	華道家元池坊高知第一支部	出前講座
14	NPO法人四国自然史科学研究センター	出前講座	28	高知おにごっこ スポーツ鬼ごっこ楽笑	出前講座

協 力 企 業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工芸株式会社	出前講座	10	株式会社ダスキンサニーマート	出前講座
2	宮地電機株式会社	出前講座	11	高知県農業協同組合春野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティオ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	株式会社ダイセ	出前講座

協 力 団 体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会（日銀高知支店内）	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知ケナフ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアＮＰＯセンター	人材紹介	28	こうちフィールドミュージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝物資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	ＮＰＯ法人ももたろう企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知コア研究所	施設見学等
10	ぶらうらんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県のいち動物公園協会	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山こどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ボレボレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	株式会社四万十ドラマ	出前講座	38	高知大学	人材紹介・出前講座
15	株式会社奇想天外(海洋堂ホビー館四万十)	出前講座	39	高知工科大学	人材紹介・出前講座
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	一般社団法人Peaeo of New Farth	人材紹介
17	ボーイスカウト高知県連盟	出前講座	41	ゴッコ・サン	本の寄贈
18	ＳＫ．未来創造研究所	研修会講師	42	土佐和紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	高知県スポーツ鬼ごっこ連盟	出前講座
20	千斗枝グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知地方気象台	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46		
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47		
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和8年９月30現在

	実施数	開催済						未開催	中止・キャンセル		マッチング不調	申込数
		子ども教室	合同	児童クラブ	合同	教室・クラブで合同	その他	10月～開催予定	自然災害・感染症予防措置	主催者・講師の都合		
		マッチング済み										
高知市	**9**	3		2			4			*1*		**10**
室戸市	**1**						1					**1**
安芸市	**13**			7	4		2				*5*	**18**
南国市	**25**	3		22				*2*		*1*	*3*	**31**
土佐市												
須崎市	**16**	4		11			1				*2*	**18**
宿毛市												
土佐清水市												
四万十市	**4**			1	3						*4*	**8**
香南市	**25**	2		22	1					*2*	*3*	**30**
香美市	**4**	3		1								**4**
東洋町	**1**	1										**1**
奈半利町												
田野町	**5**	5										**5**
安田町	**1**	1										**1**
北川村												
馬路村												
芸西村	**3**	2					1				*1*	**4**
本山町												
大豊町	**10**	10									*1*	**11**
土佐町												
大川村	**8**	8									*1*	**9**
いの町	**9**	6		3						*1*	*1*	**11**
仁淀川町	**2**	2										**2**
中土佐町	**1**	1										**1**
佐川町												
越知町												
梼原町												
日高村	**2**	2									*1*	**3**
津野町	**6**	6									*2*	**8**
四万十町	**5**	4		1						*2*	*1*	**8**
大月町												
三原村												
黒潮町	**1**						1					**1**
合　計	151	63		70	8		10	*2*		*7*	*25*	**185**
マッチング件数		**160**										

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：63　子ども教室の合同：0　児童クラブ：70　児童クラブの合同：8　子ども教室と児童クラブの合同：0
その他：10（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。）　開催予定（10月～）：2
自然災害（台風）による中止：0　講師の都合によるキャンセル：7　日程合わずマッチング不調：25

【マッチング先別人数】

令和８年9月30日現在　延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 （中学校）	児童クラブ	出前講座	研修会等		
	0	**0**	**223**		**0**	**223**

【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季（7～8月）出前講座申込数	夏季（7～8月）出前講座開催回数
2022	178	119	145	99
2023	184	137	168	125
2024	199	160	50	140
2025	182	136	32	114
2026（4～9月）	**168**	**119**	**37**	**144**

【令和8度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者（延べ人数）　令和8年９月30日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
3,609	528	77	132	4,346

講師データ(職種別延べ人数)　令和8年９月30日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	6	17	7	1	96	9	82	218

講座別実施回数　令和８年９月30日現在

ものづくり									
竹とんぼ作り	四コマ漫画・絵本作り	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とペン立て作り	森林学習と万華鏡づくり	木の実の工作2【クラフト】	森林学習と写真立て作り	紙飛行機作り
1	1	2	2	3	6	4	2	3	2
ものづくり									
巨大シャボン玉作り	プラ板キーフォルダー	ビーズアクセサリー	森林学習とレターラック作り	色砂の鉢植え（ハイドロカルチャー）	五連発輪ゴム鉄砲作り	磁器絵付け【マグカップ】	バスボム作り	空気砲であそぼう	ヒノキの実リース
1	2	1	3	6	1	2	11	3	1
体験									
けん玉教室	思いやりの魔法	けん玉教室103DAMA	レクレーション	リズムジャンプ	音楽と遊ぼう（1）クラシック音楽	日本の文化を学ぶ	積み木体験	ルービックキューブ教室	筒けん教室
2	2	1	2	1	1	1	7	6	9
体験					学ぶ				
早押しクイズ	レクレーション	バドミントン教室	おかたづけ教室	正しい走り方教室	地震の話【防災学習】	十六４ミリ映写会	おもしろ算数教室	お金のはなし	マンガ教室
1	2	2	5	1	3	4	1	2	2
学ぶ									
手話教室	電気の話【エネルギー教室】	押し花アート	おもしろ歴史講談	おもしろ英語教室	おもしろ科学教室（2）光るグミ	防災ゲーム	水のはなし	笑ヨガ	絵本の読み聞かせ
3	1	3	1	2	3	2	1	1	2
学ぶ		その他							
華道	防犯教室	マジックショー	マジックショーandマジック教室	腹話術					
1	2	16	2	1					

満足度　（出前講座報告書：アンケートより集計・・・回収率66.45%）　令和８年９月30日現在

～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91～100%
0	1	16	16	68

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和8年９月３０日現在

開催地 / 講師 居住地	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	土佐市	須崎市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	梼原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	計
室戸市																																			*0*
安芸市		2																																	*2*
香南市												4				1		1																3	***9***
香美市			4	1			1					2				2		1	1		1					1									***14***
東洋町																																			*0*
奈半利町																																			*0*
田野町																																			*0*
安田町																																			*0*
北川村																																			*0*
馬路村																																			*0*
芸西村																																			*0*
南国市			2																																***2***
土佐市																																			***0***
須崎市																																			*0*
本山町																																			***0***
大豊町																																			*0*
土佐町																																			*0*
大川村																																			*0*
いの町																																			*0*
仁淀川町																																			*0*
中土佐町																																			*0*
佐川町																																			*0*
越知町																																			*0*
梼原町																																			*0*
日高村																																			*0*
津野町																																			*0*
四万十町																																	1		*1*
宿毛市																																			*0*
土佐清水市																																			*0*
四万十市			1																																***1***
大月町																																			*0*
三原村																																			*0*
黒潮町																																			*0*
高知市		2	11	4	1		2				3	11		9		7		4	7	2					1	4	3			3			6	***80***
計	**0**	**4**	**18**	**5**	1	0	3	0	0	**0**	**3**	**17**	**0**	**9**	**0**	**10**	**0**	**6**	**8**	**2**	**1**	0	0	0	**1**	4	**4**	0	0	**3**	0	0	1	**9**	***109***

資料６

令和８年度　第１回地域学校協働活動推進委員会　協議（情報交換）

協議テーマ

『持続可能な地域学校協働活動の推進体制の構築に向けた支援の在り方について』

背景・趣旨等

【背景】

県内では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、各市町村や学校において、地域の実情に応じたさまざまな取組が進められている。

一方で、学校運営協議会における熟議の充実や協議内容の具体的な活動への接続、活動の慣例化、委員の固定化、担い手不足など、地域学校協働活動を推進するうえでの課題も見られる。

こうした課題は、地域によって状況や背景が異なることから、各市町村や学校の主体性を尊重しながら、それぞれの実情やニーズに応じた支援を行っていくことが求められる。

【趣旨】

地域学校協働活動を持続的に推進していくためには、各市町村や学校の取組を支える体制を整備するとともに、地域の実情や課題に応じた継続的な支援が重要である。

そこで、県教育委員会、市町村教育委員会、学校、地域等の役割や連携の在り方を踏まえながら、研修や実践事例の共有、助言など、どのような支援が必要なのかを協議する。

また、多様な主体の参画や地域の人材・資源の活用を促し、それぞれの地域が主体的かつ継続的に地域学校協働活動を推進できる体制の構築に向けて、県として取り組むべき支援の方向性を検討する。

協議の視点

①地域の実情や課題をどのように把握するか

・市町村や学校によって異なる課題やニーズをどう把握するか。

・地域の主体性や独自性を尊重した支援とは何か。

②持続可能な推進体制をどのように構築するか

・県・教育事務所・市町村教育委員会の役割や連携をどうするか。

・多様な人材や団体の参画をどう促進するか。

・担い手不足や委員の固定化にどう対応するか。

③効果的な支援をどのように進めるか

・研修、情報提供、実践事例の共有をどう充実させるか。

・課題を抱える市町村や学校にどのような支援が必要か。

・取組の成果を検証し、次の改善につなげるにはどうするか。

「各地域が、それぞれの実情に応じて、地域学校協働活動を主体的かつ継続的に推進していくために、県としてどのような支援体制を整え、どのように伴走していくべきか。」

⇩

担い手の確保・育成、研修の充実、情報共有、行政による伴走支援など、県として重点的に取り組むべき支援策を具体化する。